



2023

福島大学 大学概要

FUKUSHIMA UNIVERSITY OVERVIEW AND STATISTICS





附属図書館

福島大学は、福島日産自動車株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としました。契約期間は令和5年4月から令和10年3月までの5年間です。

目次 Contents

- | | |
|--|--|
| 1… 学長メッセージ
Message from the President | 19… 卒業生数及び修了生数
Number of Graduates |
| 2… 福島大学ミッション 2030
Fukushima University Mission 2030 | 21… 卒業生就職状況
Employment After Graduation |
| 3… 福島大学ニュース
Fukushima University News | 22… 外国人留学生数
Number of International Students |
| 5… 沿革略
Chronology | 奨学生
Scholarship Students |
| 7… 組織機構図
Organization Structure | 附属学校の定員及び現員
Off-Campus K-12 Schools |
| 運営組織図
Governing Structure | 23… 収入・支出決算額
Closing Accounts : Revenue and Expenditure |
| 8… 学群・学類・研究科・学系
Educational and Research Systems | 24… 科学研究費助成事業
Grants-in-Aid for Scientific Research |
| 13… 国際交流
International Exchange | 外部資金
Funds from Other Sources |
| 15… 歴代学長
List of Former and Current Presidents | 25… 学術刊行物
Academic Publications |
| 16… 役職員
Administrators | 学内施設等
Campus Facilities |
| 経営協議会委員
Management Council | 30… サテライト等
Satellite etc. |
| 17… 教育研究評議会評議員
Education and Research Council | 31… 土地・建物面積
Properties |
| 役職員数
Number of Executives, Faculty and Staff | 32… 建物配置図
Campus Map |
| 18… 入学志願者及び入学者
Number of Applicants and Enrolled Students | 34… 部局等の所在地案内図
Location of Offices |
| 学生の定員及び現員
Number of Students | 35… 部局等の所在地及び電話番号
Contact Addresses |
| | 36… 福島大学基金
Fukushima University Fund |

福島大学公式マスコットキャラクター 「めばえちゃん」



福島県阿武隈高地の深い森に棲んでいた木の妖精。

2011(平成23)年3月のある日、双葉郡から福島市へ移動する車の列に付いて、知らず知らずのうちに福島大学にたどり着いていました。うつくしまふくしま未来支援センターに住み着き活動を見ているうちに、福島県のみならず、特に子ども達を力づけるため活動したいと決意し、2013(平成25)年3月11日、センター長から47人目のセンター員として辞令を受けました。

その後、うつくしまふくしま未来支援センターのみならず、福島大学の取り組みを幅広く地域社会に広報するなどの活躍が認められ、2017(平成29)年4月に「福島大学公式マスコットキャラクター」として任命されました。

- ・年齢：4歳
- ・性別：女の子
- ・誕生日：4月7日
- ・出身地：福島県阿武隈高地
- ・お仕事：福島っ子の応援、福島県産品のPR
福島県の復旧・復興のお手伝い
福島大学のPR





地域と共に 21世紀的課題に 立ち向かう福島大学

学長 三浦 浩喜

President MIURA Hiroki

東日本大震災から12年が経過し、世界中に猛威をもたらした新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ始め、今現在、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻が、平和を希求する人々の心に暗い影を落としています。

現代社会は「VUCA(予測不能、不確実、複雑、曖昧の英単語の頭文字をとった造語)」と呼ばれています。新型コロナウイルスや、ウクライナを起点とする世界の混乱、また震災復興の複雑さ等がこれを象徴しています。こうした大きな状況は、確実に私たちの生活に直接つながり、世界の混乱を肌で感じる時代となっています。

福島大学は自らを「地域とともに21世紀的課題に立ち向かう大学」と定義し、「解のない問いにチャレンジできる人材」を育てることを目的に掲げています。12年前の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故では、本学は発災直後から被災者への支援活動を行ってきました。一連の取り組みで、問題を解決する方法と答えは現実社会の中にあるということ、新しい問題に対して用意されている答えは用をなさず、時間をかけて新しい答え、つまり「新しいやり方」を創り出さなければならない、ということ学びました。VUCAの時代を切り拓くには、対症療法ではなく、創造的に課題を解決するイノベーションが必要です。福島大学では教育と研究、地域貢献を一体化させ、福島でこそ必要な「イノベーションの担い手」を育てたいと考えています。

本学は、令和5年度に食農科学研究科の新設に加え、イノベーション人材の育成を目指して大学院を一新しました。これらに先立ち、令和4年度4月には「地域未来デザインセンター」を立ち上げ、これまで行ってきた地域支援を継続するのはもちろん、人口減少・少子高齢化、地域の疲弊などの課題に正面から向きあい、デザインという切り口で「新しい社会のあり方」を示そうとしています。ここでは、本学のリソースを示すに留まらず、地域と研究者、学生らが語り合い、多様なプロジェクトを生成し、「Well-being」の実現をめざします。そのために、教育組織や研究組織、地域との連携の形も刷新し、地方国立大学の新しいあり方を示そうと考えております。

今後とも、引き続き本学へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

基本理念：地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学

人口減少・少子高齢時代における地方の「新しい社会づくり」の実現・モデル化

福島大学は高等教育機関として、東日本大震災とそれに伴う原発事故を経験し、他大学に先駆けて教育やコミュニティ、環境、エネルギー、農業などの様々な問題に組織的・総合的に取り組んできました。これらの知見を集積させ、「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」として、目の前の問題解決に取り組みながら、新しい時代の社会システムを提案できる大学を目指します。

新しい社会と大学の目的	第4期における大学のあり方	人材育成方針
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地方分散型で経済の低成長時代を人間的、創造的に生きていく知恵と技術 ■ 人口減少・少子高齢社会でも、一人ひとりが豊かに、希望に満ちて生きていけるライフスタイル ■ 個人の Well-being, 社会の Well-being の実現をめざす大学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会に開かれ、異質な人々が出会う場 ■ これからあるべき社会の姿を共に探究 ■ 新しい社会をつくるための思想や価値観、知識や技術、構想力や実践力を獲得 ■ 試行錯誤、実践と反省を繰り返し新しい社会を生み出す「社会づくりの実験室」であるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アカデミックな学び、震災・原発事故からの経験を活かす ■ 10年先の課題を見すえた人材育成 ■ 地域および世界の「21世紀的課題」に取り組むイノベーション人材の育成 ■ 未来志向的、社会のハブ、困難な問題解決に挑み、社会の価値観や技術を創造的に再構成しようと挑む人材

教育のあり方

- 地域の現状・課題と大学での学びを重合、地域実践型プロジェクト学習を拡大
- 人材育成方針をすべての教育課程に通貫、学士課程から修士課程までの教育をシームレスに連続
- 基礎的な知識の習得と実社会での応用、地域と世界の問題発見、異文化コミュニケーション、問題解決にむけた主体的な学習、などを高度に融合
- PBL, ICT, STEAM, グローバル, シティズンシップ等の教育を充実

研究のあり方

- 地域課題・21世紀的課題に対応した基盤的研究を政策的に強化、既存の学類・研究科の研究の「強み」を明確化
- 人文・社会・理工・農の各分野の高度な融合と総合性を実現させるために、異分野間の共同研究を推進
- 「発酵醸造研究所」の研究を推進し、「福島国際研究教育機構 (F-REI)」へ積極的に参画し、大学全体の研究・実践フィールドとして位置づけ

地域貢献のあり方

- 地域社会に新しい形を提案し、10年後を見すえた地域の在り方を追求
- 大学としてなすべき社会貢献の在り方を再構築して重点化
- アクション・リサーチのように教育・研究に還元される仕組みをデザイン
- 地域と協働し、学生の学びの場・研究のフィールド・地域の課題解決の3つの領域を有機的に融合

教員養成・附属校園のあり方

- ICTやPBL, アクティブラーニングなどに対応できる教育者養成の高度化
- 少子化を踏まえた経営を含む抜本的な改革、全学附属としてのメリットの強化

組織・運営のあり方

- 「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」としての教育・研究・地域貢献を可能とする新たな教育研究組織を構築
- 学類と学系、研究科の関係性を整理し、教育と研究を車の両輪として一体的に行うことが可能となる新しい教育・研究組織を創造
- 地方創生を目的とした定員増も見すえ、本学の発展をめざす

大学改革の進め方

- 長期的に持続可能な新しい大学への転換をめざし改革を推進
- スリム化とイノベーションによる強化を進め、本学の「強み」を先鋭化
- 県内唯一の国立大学としてリーダーシップを発揮し、県内外の高等教育機関との連携を強化し、機能の共有・協働も実質化

F 大学院を再編

21世紀的課題に立ち向かう〈力〉と〈意欲〉は〈大学院〉で身につける

福島大学では、令和5年4月に大学院をリニューアルしました。福島県の農業再生を加速させる「食農科学研究科」を新設するとともに、教職大学院を「教職実践研究科」として独立させ、人文系・社会系の既存3研究科を「地域デザイン科学研究科」へと統合し、「共生システム理工学研究科」の学際的研究を強化しました。

これまでの常識や慣例にとらわれることなく、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力をもって、地域および世界の21世紀的課題に果敢に挑み社会に変革をもたらす、「イノベーション人材」を養成していきます。



新大学院 HP

地域デザイン科学研究科

人・コミュニティ・経済を「リ・デザイン」

人文系・社会系の3研究科を統合し、「地域デザイン科学研究科」として新設しました。「人間・文化」、「法・政策・コミュニティ」、「経済・経営」という3つの領域において、アカデミックな研究と地域社会における実践を融合することによって、新たな知を創造し、豊かな地域社会をデザインしていきます。

共生システム理工学研究科

人と自然が共生できる技術を創造

理学と工学の高度な専門性に加え、人一産業一環境における共生の新たなシステム科学を構築し、21世紀的諸課題の解決をめざします。カーボンニュートラルや福島としては不可避の環境放射能の問題、ICTや環境問題など、現代的な課題にも取り組みながら技術者・研究者を育てていきます。

食農科学研究科

食と農で持続可能な社会を

食農学類の学びを継続・発展させ、福島県の農林水産業と食料・食品関連産業を発展させるための人材を養成します。被災地域における新たな経営・生産方式の導入、「ふくしま」ならではの高付加価値化の取組や環境と共生する農林水産業の推進といった福島県が抱える固有の地域課題の解決に取り組みます。

教職実践研究科(教職大学院)

教育を通して社会を変える

専門職を養成する大学院として、独立した研究科に生まれ変わりました。福島県の教育を牽引できるミドル・リーダーを養成することを目的に、現職の教員と学部から進学した学生が共に学校現場での実習と議論を積み重ね、ICTなども含めたこれからの時代に必要な教育を開拓していきます。

新しい大学院のカタチ

【修士課程・博士前期課程・専門職学位課程】

再編前 142名	
人間発達文化研究科 40名	
教職実践専攻【教職大学院】 (専門職学位課程 16名)	
●ミドル・リーダー養成コース ●教育実践高度化コース ●特別支援教育高度化コース	学位 教職修士(専門職) 分野 教員養成関係
地域文化創造専攻(修士課程 17名)	
●人間発達支援領域 ●言語文化領域 ●地域生活文化領域 ●数理科学領域 ●スポーツ健康科学領域 ●芸術文化領域	学位 修士(地域文化) 分野 教育学・保育学関係
学校臨床心理専攻(修士課程 7名)	
●臨床心理領域 ●学校福祉臨床領域	学位 修士(教育学) 分野 教育学・保育学関係
地域政策科学研究科 20名	
地域政策科学専攻(修士課程 20名)	
●地方行政 ●社会経済法 ●行政基礎法 ●社会計画 ●地域文化	学位 修士(地域政策) 分野 法学関係、社会学・社会福祉学関係
経済学研究科 22名	
経済学専攻(修士課程 10名)	
	学位 修士(経済学) 分野 経済学関係
経営学専攻(修士課程 12名)	
	学位 修士(経営学) 分野 経済学関係
共生システム理工学研究科 60名	
共生システム理工学専攻(博士前期課程 53名)	
●数理・情報システム分野 ●物理・メカトロニクス分野 ●物質・エネルギー科学分野 ●生命・環境分野	学位 修士(理工学) 分野 理学関係、工学関係
環境放射能学専攻(博士前期課程 7名)	
●生態学分野 ●モデリング分野 ●計測分野	学位 修士(理工学) 分野 理学関係、工学関係

再編後(令和5年4月から) 119名	
地域デザイン科学研究科 42名 新設	
人間文化専攻(修士課程 20名)	
●言語文化コース ●地域文化コース ●スポーツ・芸術文化コース ●人間発達心理コース	学位 修士(人間文化) 分野 教育学・保育学関係
地域政策科学専攻(修士課程 8名)	
●法・政策コース ●コミュニティ探究コース	学位 修士(地域政策) 分野 法学関係、社会学・社会福祉学関係
経済経営専攻(修士課程 14名)	
●経済学コース ●経営学コース	学位 修士(経済学) 分野 経済学関係
教職実践研究科【教職大学院】 12名 新設	
教職高度化専攻(専門職学位課程 12名)	
●ミドル・リーダー養成コース ●授業デザインコース ●特別支援教育コース	学位 教職修士(専門職) 分野 教員養成関係
共生システム理工学研究科 45名 教育課程の見直し	
共生システム理工学専攻(博士前期課程 40名)	
●数理・情報システムコース ●物理・メカトロニクスコース ●物質・エネルギー科学コース ●生命・環境コース	学位 修士(理工学) 分野 理学関係、工学関係
環境放射能学専攻(博士前期課程 5名)	
●環境放射能学コース	学位 修士(理工学) 分野 理学関係、工学関係
食農科学研究科 20名 新設	
食農科学専攻(修士課程 20名)	
●食品科学コース ●農業生産科学コース ●生産環境科学コース ●農業経営科学コース	学位 修士(農学) 分野 農学関係

F 福島国際研究教育機構(F-REI)との連携協力

福島大学では、福島をはじめ東北の復興を実現するため、令和5年4月に設立された福島国際研究教育機構(F-REI)との連携協力に力を入れ取り組んでいます。令和4年度には第1分野(フィールドロボット分野)及び第2分野(農林水産業分野)で先行研究に採択されるなど、F-REIが正式に設立される前から連携事業を進めてきました。また、令和5年5月にはF-REIとより一層の連携協力関係を築くため「連携協力に関する基本合意書」を締結しました。これからも福島大学は地元福島の地域創生に貢献していきます。

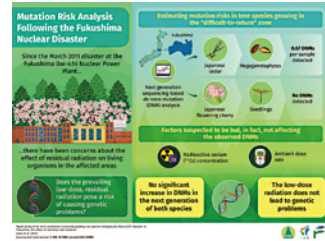
福島大学では「福島での課題解決」に結びつく研究を、重点研究分野「foRプロジェクト」に指定しました。震災や原発事故による深刻な地域課題の解決に向け、研究が加速することが期待されます。以下4プロジェクトは、令和4年度に採択・実施されました。

多彩な専門家の協働によるローカルかつグローバルな福島生物研究

兼子伸吾

生物を対象とした研究テーマでは、研究対象が地域的であっても、世界的に重要な知見が得られることも多いです。福島第一原子力発電所事故から10年が経過し、様々な学術研究がなされてきましたが、放射性物質への不安は根強く残っています。また、イノシシやニホンジカといった大型哺乳類の分布拡大は農林業に大きな影響を与えています。本プロジェクトでは、このような課題について研究を進め、成果を学術論文として公開しました。さらに、多彩な専門家の支援を受け、様々なメディア・資料を通じた成果の普及に努めてきました。例えば、野外の樹

木を対象とした新規突然変異の実証研究については、森林総合研究所と共同で国内外に向けて広く発信し(図のインフォグラフィックスは森林総合研究所より提供)、大きな反響がありました。



福島野菜の有利性を探る

～多様な気象条件がブロッコリーの栄養・機能性成分に及ぼす影響～

深山陽子, 平修, 牧雅康

福島県内では様々な野菜が生産されています。そのなかでもブロッコリーは県南や浜通りを中心に県内で広く作付けされており、他県産地からの出荷が少ない6月と11月に収穫できることから福島が有利な野菜の一つです。また、ブロッコリーには様々な栄養・機能性成分が含まれることから消費が増えている野菜です。本研究では、福島県内で栽培されているブロッコリーを対象に栽培地の気象条件が栄養・機能性成分に及ぼす影響を分析・解析しました。その結果、タンパク質、炭水化物、還元型コエンザイムQ10、ビタミンKは、地域や収穫時期により濃度の

ならず食部内での局在性も異なることがわかりました。これらの結果は、福島県内の各地域でのブランド化戦略にも利用できる可能性があると考えられます。

さらに、出蕾から収穫までの積算日射量とタンパク質濃度に正の相関が認められ、生産地の気象データからの予測ができると考えられました。



農地や生活圏での流路内浸透・貯留工法によるノンポイント汚濁削減技術の地域実装

原田茂樹, 石井秀樹, 窪田陽介, 林薫平

一被覆肥料プラスチックカプセルの流出動態解明と制御をめざして～

プラスチックカプセルで肥料を覆うことで溶出時期は遅れ、春に施肥すれば夏の追肥の必要がなく、後継者・若年労働者不足の問題を解決します。しかし世界的課題であるマイクロプラスチック問題の主要原因であることも事実です。本研究ではプラスチックカプセルの流出制御のため、福島県・宮城県の4地区での代掻き・田



水田内のカプセル存在状況調査を行う学生達

植時調査を通じ、流出動態解析、制御装置開発、実水田での制御装置試験などを、農家との情報交換や相談を行いながら実施しました。動態解析から、代掻き後の落水時流出がほぼすべての流出をしめ、滞留時間の違うカプセルが混在しながら流出することが明らかとなりました。保持する研究シーズである「ポーラスコンクリート(多孔性コンクリート)利用」により、濾過機能を通じカプセルの流出抑制が果たせることを実水田で確認しました。今後、浅水代掻きなどソフト対策の実現、生分解性素材の進出にともなうその分解性評価などが必要であると考えています。

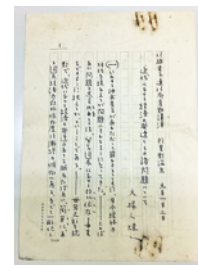
戦後日本社会科学エゴ・ドキュメント・アーカイブの構築と活用

阪本尚文, 金井光生, 菊池壯蔵 (福島大学名誉教授)

一国際的研究拠点整備による福島県の歴史研究の再活性化～

福島大学には、20世紀日本を代表する社会学者たちのエゴ・ドキュメント(書簡、日記など1人称で書かれた資料)、すなわち、経済史家、大塚久雄の読書ノート・草稿類、経済史家、高橋幸八郎の日記及び関連する書簡、そして、経済学史家、小林昇の講義ノート・日記が、未活用のまま放置されるか、あるいは新たに集積されつつあります。附属図書館大塚久雄文庫を拡充し、戦後日本の社会科学の発生・展開過程を分析するために不可欠なこれらの貴重資料を保存・公開することで、地元の郷土史家、全国の研究者、さらには海外の研究者までが集う研究拠点を

築くことが、本プロジェクトの目的でした。資料の劣化を防ぐために資料保存用封筒に入れて整理番号を付し中性紙保存箱に収納するとともに、整理番号、作成年などを記載した目録を作成し、大塚文庫に所蔵しました(一部はデジタル化も行いました)。また、資料の解読から、彼らの戦時中の活動の一端を解明することができました。



新たに発見された大塚の講演草稿



福島大学「学生ジャーナリスト」

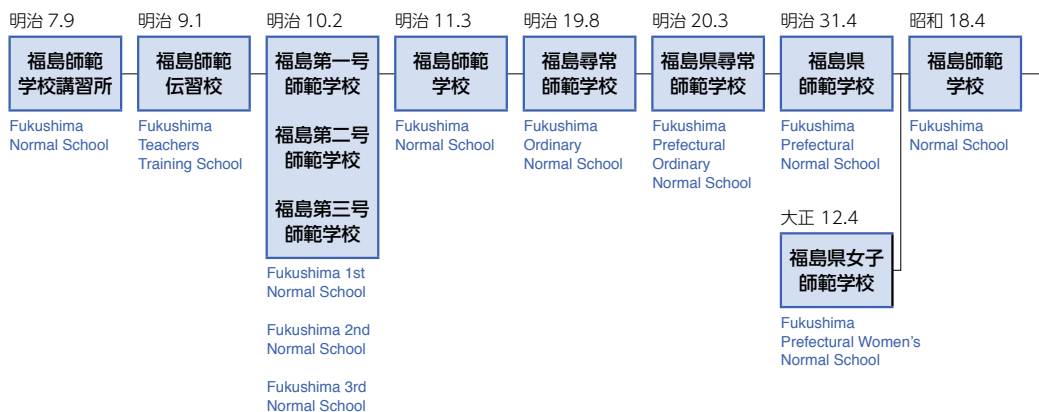
福島大学では、令和2年に学内の魅力を発信するチーム「学生ジャーナリスト(通称:GJ)」が結成され、現在75名の学生メンバーと職員と一緒に活動しています。放送班、SNS班、写真班、めばえ班、翻訳班の5班で構成され、各班が協力し合いながら、大学公式 Mascot キャラクター「めばえちゃん」と共に、学内外に向けて「顔の見える大学」として、学生ならではの視点・立場で広報活動を行っています。学内の様々な人・団体を紹介する15分間のラジオ番組「めばえのたね」(通称:めばらジ)、SNSを使ったクイズ企画、福島大学公式 YouTubeチャンネルで「めばえちゃん」が様々なことに挑戦する動画企画、Instagramを使った福島大学フォトコンテストなど、幅広い活動を通して福島大学を盛り上げています。



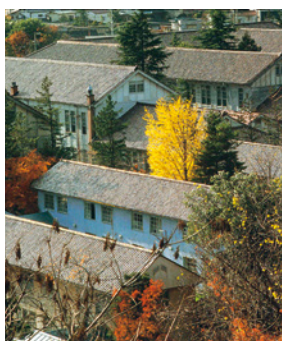
福大祭でのステージ発表

沿革略

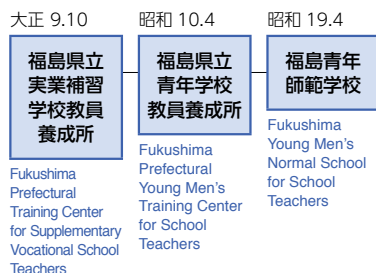
Chronology



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス



1949(昭和24)年5月31日、法律第150号国立学校設置法により、福島師範学校・福島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2学部を持つ福島大学が設置されました。

学芸学部(1966(昭和41)年4月に教育学部と改称)は市内浜田町に、経済学部は市内森合の2つのキャンパスに分散していたため、1979(昭和54)年から1981(昭和56)年にかけて現在の金谷川の地に統合移転しました。1987(昭和62)年10月に行政社会学部を増設し、2004(平成16)年10月、国立大学法人化の中で理工学群共生システム理工学類を創設するに伴い、学部制から学群・学類・学系制へと全学再編しました。

旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくくり、理工学群とともに2学群4学類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の学系(2023(令和5)年現在は8学系)を構築しました。また、人文社会学群は、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(現代教養コース)を設けました。大学院についても既存3研究科とともに、2008(平成20)年4月には共生システム理工学研究科を発足させました。2010(平成22)年には同研究科に博士後期課程を、2017(平成29)年には人間発達文化研究科に教職実践専攻(教職大学院)を設置しました。

2019(平成31)年4月には、新たに農学群食農学類を開設し、3学群5学類の総合大学として生まれ変わりました。また、現代教養コースを、「行政政策学類夜間主」として社会人教育に特化した夜間主コースに再編したほか、大学院共生システム理工学研究科の中に環境放射能学専攻を設置しました。

2023(令和5)年4月には大学院をリニューアルし、福島県の農業再生を加速させる「食農科学研究科」を新設するとともに、教職大学院を「教職実践研究科」として独立させ、人文系・社会系の既存3研究科を「地域デザイン科学研究科」へと統合し、大学院全体の目標を「イノベーション人材の養成」に改めました。

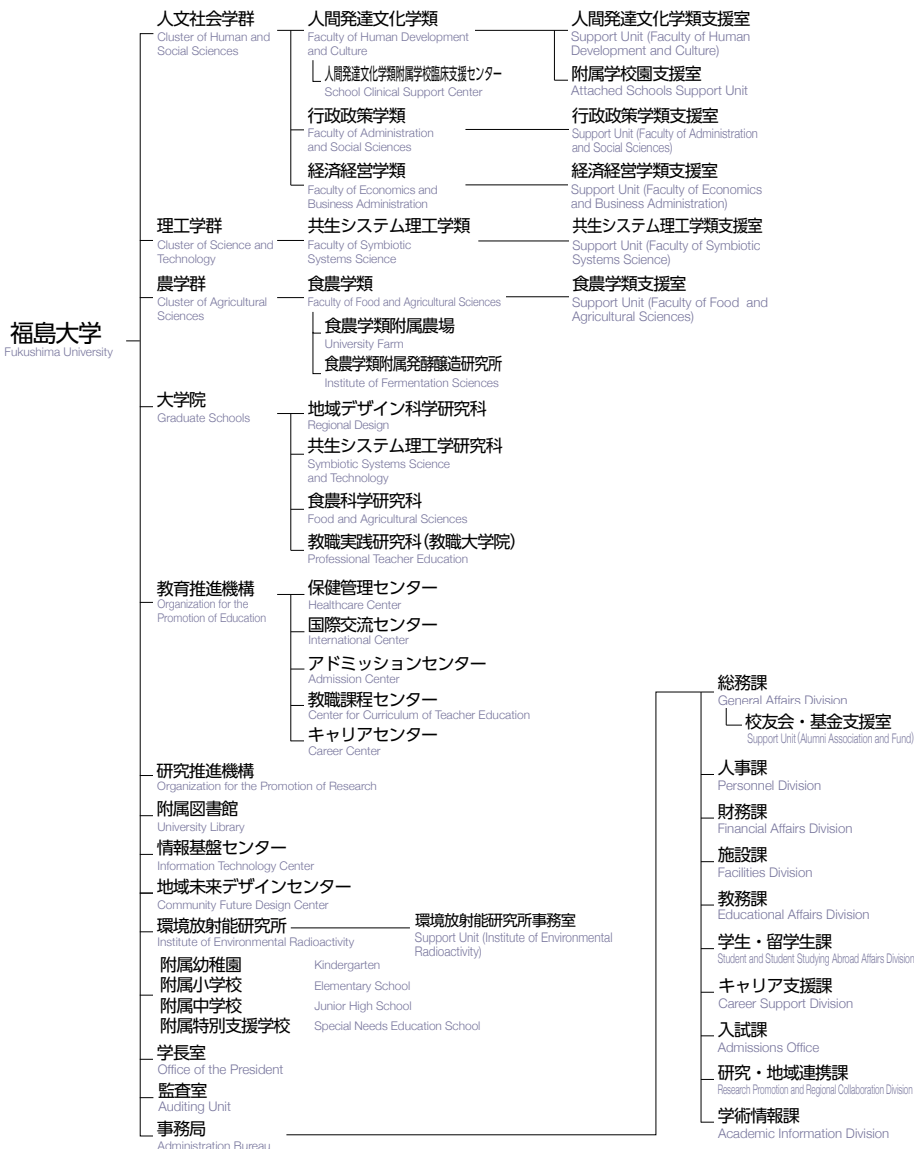


移転当時の金谷川キャンパス

組織機構図

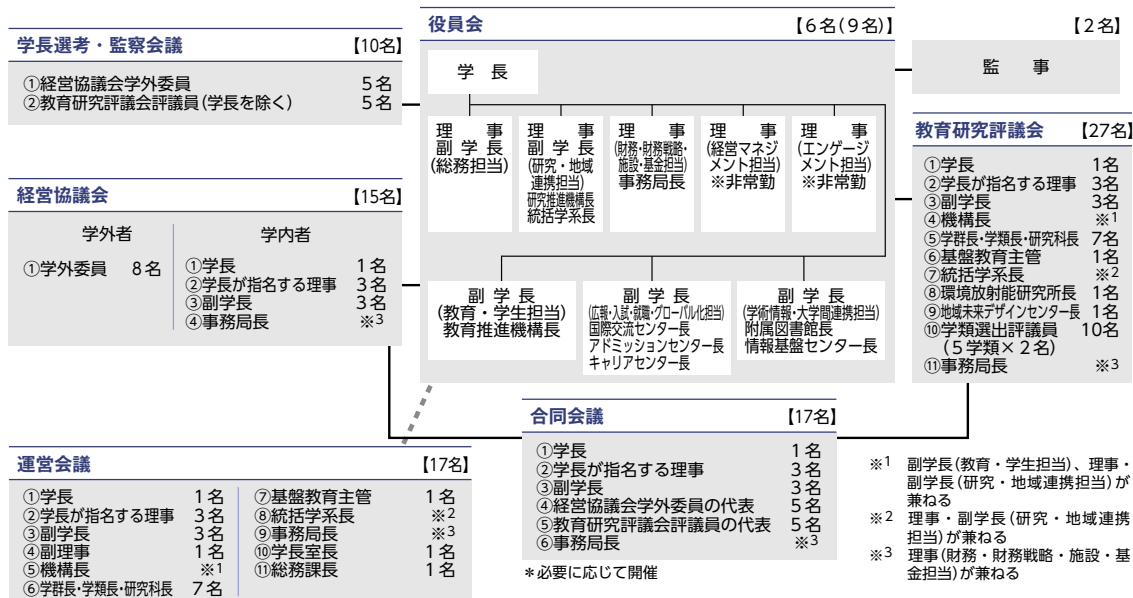
ORGANIZATION STRUCTURE

2023. 5. 1



運営組織図

GOVERNING STRUCTURE



学群・学類・研究科・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)



福島大学では、教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入し、教育や研究における教員の相互交流を推進している。人文社会学群に「人間発達文化学類(旧教育学部)」「行政政策学類(旧行政社会学部)」「経済経営学類(旧経済学部)」の3学類を、理工学群に「共生システム理工学類」を、農学群に「食農学類」を置いている。人文社会学群には社会人教育を担う「行政政策学類夜間主」を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture

生涯を通じた学びや人の成長を支える人材を育成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しており、学校教員をはじめとして、社会の様々な分野で活躍する教育関係者、人間発達の支援者を育てる。学生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次から専門のコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学ぶ。この学びにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができる。各種免許・資格等のうち、保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成している。

教育実践コース	学校現場で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける学校教員として求められる実践力をつけることを目指す
心理学・幼児教育コース	人の行動・心理についての知識を得て、科学的手法により研究を行う心理学と、乳幼児の発達を学び、幼児期にふさわしい経験を探る幼児教育について学ぶ
特別支援・生活科学コース	知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもたちの発達支援や家庭・地域社会に関わる生活科学の基礎について学ぶ
芸術・表現コース	芸術の意義を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的、実践的に身につけるための学びを行う
人文学コース	言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について広く深く学び、地域の文化を継承し、発展させていく力を養う
数理自然科学コース	身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを行う
スポーツ健康科学コース	スポーツ技能の向上と指導力を高め、生涯にわたるスポーツライフの実現と健康福祉について学ぶ

TOPICS

福島の教育的課題に取り組む

2014(平成26)年度から「学校教育支援実習」を新たな実践実習科目として設定した。これは、学校ボランティア活動をもとに学校での教育活動を支援しながら子どもたちへの理解を深め、現場の課題に取り組んでいくものである。また、放射線と健康に関する基礎的知識や復興教育に携わる際の実践的知識と心構えなどを学ぶ「復興教育学」も開講している。本学類では、このような学びや実践を通して福島の教育的課題に取り組んでいく力の向上を図り、福島の次世代を育てる学校教員の養成に努めている。

本学類生は大学での様々な学びをもとに、双葉郡の新たな教育を創造する取り組みにも積極的に関わって活躍している。



ふたば未来学園高校での実習支援活動



地域や人々の暮らしに、学際的・実践的に貢献する

行政政策学類では、法学、政治学、行政学、社会学、歴史・文化研究等の多彩な科目をそろえ、学際的な観点から地域社会が直面している諸問題を認識するとともに、地域の人々や自治体などのさまざまな主体との協働を通して、実践的な問題解決に取り組む人材を養成する。また東北地方の国立大学文系では唯一の夜間主を設けており、働きながら学び、大学での学修を職業や地域での生活に活かすことのできる人材を育成すると同時に、さまざまな世代の共修による学びの活性化を目指している。国家公務員・地方公務員・NPO職員等の公共部門はもちろん、民間企業にも幅広く人材を輩出している。

地域政策と法コース	法や行政の仕組みを知り、政策づくりから見直しまでの一連のプロセスに取り組む
地域社会と文化コース	地域社会と文化形成にかかわる幅広い知識を修得し、新しい地域づくりを提案し実践をめざす
夜間主(社会人教育)	柔軟なカリキュラムで「学び」と「社会人としてのキャリア」を支える(コースは昼と同様)

TOPICS

地域の課題を調べ、地域とともに楽しむ

本学類では昼間・夜間主とも、2年次進級の際、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」のいずれかに所属する。いずれのコースでも演習(ゼミ)科目を中心に、一方向的な講義形式とは異なる、学修者の能動的な参加を取り入れたアクティブ・ラーニングが実施される。

例えば「地域社会と文化コース」の場合、「社会計画」「社会学」「地域文化」「比較文化」の4分野に所属する教員が、各分野の特徴を活かして演習を実施する。特に現地調査や実践的な活動への参加を通じて、地域社会を中心とした現代社会の諸課題に直接触れ、考える機会を設けることが、同コースでは日常的に行われている。こうして、自分事として諸課題を捉える感性を養っていく。

その一つ、3・4年次の「演習(社会調査論)」では、人口減少や少子化・高齢化の影響を受ける、計画的住宅地の再生に関する調査や実践を続けている。近年では、いわゆるニュータウンにおいて空洞化する中心施設の活用を考えるための全国規模のアンケート調査や、近隣の現地調査を行い、成果を本学類の学生論集『嶺風』に投稿するなど研究を進めている。そして調べるとともに、住民が参加する「まちづくりゼミ」を運営し、地域の課題をともに、むしろ楽しむ試みも行っている。

演習科目での調査や実践の経験は、最終的には学生個々がとりくむ卒業研究に活かされていく。そして、職業生活に止まらない、この社会でよりよく生きていくための手立てとしていくのである。



近隣のニュータウンで現地調査や「まちづくりゼミ」を実施(福島市蓬萊団地)

経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration

100年の実績と未来への革新、福大経済

経済経営学類は、旧制福島高等商業学校以来の100年の実績を未来においてより輝かしいものとすべく革新を続けている。現在、本学類では経済学コース、経営学コースの2コースに加え、両コース横断的なグローバル・エキスパート・プログラムを設定し、両コースで学ぶ知識、技能を世界のステージで応用できる人材を育成する。2コースの下には、学生の多様な興味関心と将来の進路に対応すべく、4つの履修モデルを設定している。

経済学コース	現代の経済社会を理解し、経済の理論と応用に関する専門的知識・能力を修得させる
経営学コース	現代の経済社会を理解し、地域経済と経営、会計と金融の専門的知識・能力を修得させる

TOPICS

グローバル・エキスパート・プログラム

当プログラムは、異なる文化的背景を持つ人々の中で他者に共感しつつ、自らの周りの諸課題を地球規模で考える人材育成を目的とし、欧州評議会が提唱する複言語主義に基づき、日本語、英語とともに、英語以外の外国語の学修を義務づけている。学生は、身につけた外国語運用能力を武器に、留学、海外調査、海外インターンシップなど異文化活動に参加することで、実践経験と知識をバランスよく積み重ね、自らの学修をより深いものとしている。早ければ2年後期から1年間の留学が可能である。また、これまでに、テキサス州ヒューストン市役所でのインターンシップ、ヨーロッパやアジアの数カ国で「食」「観光」「消費行動」に関する共同調査を実施し、その成果を社会に対して積極的に発信してきた。認定基準を満たした学生には、就職活動にも利用できるよう、第6セメスター終了時に認定証を交付している。



「消費行動」に関する共同調査・発表(「ワールドマーケット」於アオウゼ)



共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science

システム思考の理工系人材の育成

共生システム理工学類では、現代社会や地域の問題をシステム科学的にとらえ、その解決に主体的に寄与できる、広い視野を持った理工系人材を育成する。そのため、人・産業・環境の共生に関わる多岐にわたった教育を行い、実践的研究を経験する機会を提供する。

1年次では幅の広い理工学の基礎を学び、2年次からは9コースの専門分野に分かれて深く学び、3年次後期からは研究室に配属されて演習や卒業研究を行う。

数理・情報科学コース	情報社会に貢献できる数理科学・数学、情報科学を学ぶ
経営システムコース	経営の諸問題を整理し工学的手法で解決する方法を学ぶ
物理・システム工学コース	ものや技術の創出に関わる物理や機械・電気工学を学ぶ
物質科学コース	先進的なものづくりのための物質・材料関連分野を学ぶ
エネルギーコース	持続可能な社会のための省・創・蓄エネの技術を学ぶ
生物環境コース	生物と環境の関係、自然史、生物保全の関連分野を学ぶ
地球環境コース	地球環境の現象を解明し問題解決を目指す科学を学ぶ
社会計画コース	持続可能な社会の構築を目指す総合的な計画方法を学ぶ
心理・生理コース	心の働きや脳の仕組みを心理学や生理学から学ぶ

TOPICS

地域の課題に取り組む学生達

廃炉や除染に関する技術・再生可能エネルギー・福島県内の動植物・猪苗代湖や阿武隈川など、福島県に関係する研究テーマを数多く扱っている。そのため、見学やフィールドワークは欠かすことはできず、年間を通じて多くの機会を設けている。現場で見た規模と研究室で行う規模の差を意識することは、技術を開発し社会に実装するために必要である。地域の課題の解決にシステム思考で活躍できる人材を育てるために、学内外で様々な活動を行っている。



国内最大級の布引高原風力発電所の2000kW級風車を見学



中間貯蔵工事情報センターで説明を受ける学生達(この後、中間貯蔵施設構内をバスで見学)



ヘルメットを着用して入構し、特定廃棄物最終処分場を見学

食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences

食と農をつなげて科学する

「農学専門教育」と「農学実践型教育」の2つの柱からなる農学教育により、実践的に農学を学び、食と農の課題に幅広く取り組む力を養う。

食品科学コース	農産物や食品の機能性や高付加価値化に関する技術や知識を学ぶ
農業生産学コース	農産物の安定生産、高品質・高収量化に関する技術と知識を学ぶ
生産環境学コース	持続的な農林業のための環境管理・保全に関する技術と知識を学ぶ
農業経営学コース	魅力的な農業経営、地域やフードシステムに関する知識と技能を学ぶ

TOPICS

農場基礎実習

入学後すぐ1年生から農場基礎実習を開始する。大学の農場で稲、野菜、果樹、花卉を栽培し、作物栽培に必要な技術や管理方法に関する知識を習得する。播種、定植、摘果、肥培管理、病害虫管理、収穫・貯蔵等の基本的な作業を学ぶとともに農業機械や農機具の取り扱いについても学修する。併せて、農場基礎実習では「体験、観察力、コミュニケーション(学生同士、学生と教員、学生と地域の方々)」を養う場でもある。この農場基礎実習を通して農業の基礎を身に付け、2年生以降の現地での実践につなげる。



質量分析装置での実験の様子



田植え実習の様子



森林実習



温室での実習



共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

理工学的問題解決を通して持続可能な社会の構築に貢献する

学士課程で培われた知識や技術をさらに進化させ、科学技術の進化に適應する高度で広範な教育研究を提供する福島大学大学院共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻修士課程を2008(平成20)年度に開設した。年次進行で、2010(平成22)年度からは博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)し、2019(平成31)年度には共生システム理工学専攻に加えて環境放射能学専攻の修士課程を本研究科に開設している。さらに2021(令和3)年度には環境放射能学専攻博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)した。

共生システム理工学専攻 博士前期課程	数理・情報システムコース	数学、情報科学、経営システム工学、およびそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究
	物理・メカトロニクスコース	物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、およびそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究
	物質・エネルギー科学コース	化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、およびそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究
	生命・環境コース	生物学、心理学、地学、気象学、水文学、およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究
共生システム理工学専攻 博士後期課程	共生数理システム領域	機械・電子・制御、数理情報・コンピュータ科学、経営情報システム、技術経営(MOT)、生産管理とロジスティクスシステムに関する研究
	共生環境システム領域	機能性材料・資源循環・エネルギー技術、環境の実態把握、環境保全・環境再生、衛星観測やモデリング、人間環境システムの管理・計画、人間の心理・生理的仕組みに関する研究
環境放射能学専攻 博士前期課程	環境放射能学コース	生態学、生物学、またはそれらを基礎とする放射生態学分野の研究
		地球科学、現象数学、またはそれらを基礎とする放射能モデリング分野の研究
環境放射能学専攻 博士後期課程	環境放射能領域	放射能(線)の計測、モニタリング計画、予測評価、環境修復、放射線防護、廃炉、中間貯蔵、浄化に関する研究

食農科学研究科 Graduate School of Food and Agricultural Sciences

食と農で持続可能な社会を

食農学類の学びを継続・発展させ、福島県の農林水産業と食料・食品関連産業を発展させるための人材を養成する。被災地域における新たな経営・生産方式の導入、「ふくしま」ならではの高付加価値化の取組や環境と共生する農林水産業の推進といった福島県が抱える固有の地域課題の解決に取り組む。

本研究科は1研究科1専攻(食農科学専攻)の体制のなかに4コースを設け、学生は主指導教員が担当するコースに所属し、授業、演習を通して研究技法を学ぶとともに主指導教員と2名の副指導教員の指導を受けながら自ら研究を行い修士論文として成果をまとめる。

食品科学コース	食品科学を農場から食卓までのフードチェーンの繋がりの中に位置づけ、食材の生物学的、物理化学的な加工・保蔵技術の知識や理論に加えて、食と健康及び安全性、嗜好性などの生理学的、医学的な知識と理論を修得する。さらに先端機器分析とデータ科学による定量的化学・生物学の基礎と応用を学び、食材、加工・保蔵、生体に関わる複雑系における科学的根拠となる技術と理論を体系的に学修する。
農業生産科学コース	作物生産、食料生産、栽培資源利活用、栽培環境の諸問題を解決するための専門的で高度な知識や技術力、新規栽培品種の開発と既存品種の見直し、栽培技術の革新、病害虫の農業被害管理に関する専門的で高度な科学技術を学修する。また、研究を立案して推進する能力、データを解析し考察する能力、説得力のあるプレゼンテーション技術など、科学的・専門的で高度な専門知識と技術を学修する。
生産環境科学コース	食と農が依って立つ森林環境と農村環境を維持するため、環境調和型農林業生産、里山管理、野生鳥獣害防除、森林・農地の物質循環、農業インフラ管理、ビッグデータ・ICT・人工知能(AI)の農業への活用など、生態系の動態解明から農山村環境の管理システムまでを網羅した専門的で高度な理論及び科学技術を学修する。データサイエンスを基盤とした研究活動を行い、科学技術を社会実装するための手法を学修する。
農業経営科学コース	農業経営やフードシステム、地域・農村社会に関する高度な専門的知識を学修することにより、食と農に関わる問題群を解決するための知識と人文・社会科学的な技能を修得する。また、データサイエンスとフィールドワークの方法論、及び対話・議論の場を重視し、現場課題に立脚した研究活動を推進し、これからの農林水産業や食品産業、地域・農村社会を担える人材の養成を目指す。

教職実践研究科(教職大学院) Graduate School of Professional Teacher Education

地域課題や教育課題に果敢に挑むイノベーション人材としてのミドル・リーダーを養成する

教職実践研究科は、地域課題や教育課題を認識し、新たな教育の探究により、未来を創造し、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力を身につけることで課題に果敢に挑み、その解決に寄与する人材を養成することを目的とする。

大学院の進学者の教育とともに、県教育委員会、市町村教育委員会の協力のもと、現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。

ミドル・リーダー養成コース	自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)をもとに、学級経営から学年経営・学校経営へと学校課題を視野に入れつつ、チーム学校を下さえる重要な役割を果たす教員として学校課題を解決する機動力をもった「ミドル・リーダー」を養成
授業デザインコース	自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)を改善し、学級経営・教科指導の力を確固たるものにするとともに、学校課題の意識をもった、「次のミドル・リーダー」を養成 また、学部新卒生を対象とし、年間を通じた学校経験を重ねながら、多様な現職教員と交流することを通じて、教育実践の課題を総体として理解し、学校教員としての自覚をもった「次世代のミドル・リーダー」を養成
特別支援教育コース	障害の重度化、重複化、多様化に対応でき、特別支援学校のマネジメント力または高度な実践力を身につけた特別支援学校教員を養成

地域がかかえる21世紀的課題を「デザイン思考」で解決する

地域デザイン科学研究科は、人文科学および社会科学の知を総合して今後の地域社会のあり方をデザインしていくイノベーション人材の養成を目的とする。震災・原発事故からの復興・再生、21世紀的課題の解決、「新しい社会づくり」の理論化・モデル化は、福島のみならず、日本ひいては世界の持続的発展にとって喫緊の課題である。そうした課題に、「住民目線で将来の地域のあるべき姿を描き、課題を整理したうえでその解決方法を具体的に立案・設計・試行する」というデザイン思考で立ち向かう高度専門職業人を養成するために、以下の3つの専攻を置く。

(1) 人間文化専攻

人間文化専攻では、人間社会が歴史的に創り上げてきた文化、人間科学の専門的な探究と他専攻で開講されている各分野の専門科目との学際的な融合を通して、人間の全人的なあり方をデザインし、高度で多様な専門的知識を持ち、地域との協働の中で新しい価値を創造して諸問題の解決を先導できる高度専門職業人を養成する。

言語文化コース	言語学, 文学, 文化学, 言語文化教育
地域文化コース	歴史学, 地理学, 経済学, 社会学, 倫理学, 食物学, 被服学, 生活科学教育
スポーツ・芸術文化コース	スポーツ科学, 音楽, 美術
人間発達心理コース	心理学, 幼児教育, 臨床心理

(2) 地域政策科学専攻

地域政策科学専攻では、自治体やコミュニティのあり方を再デザインし、地域が直面する21世紀的課題を解決に導く力を持つ市民や高度専門職業人を養成することを目的とする。そのために、他専攻の分野も含めた人文・社会科学の諸研究の知見をもとにした複合的な視点を取り入れ、また、歴史的に形成されてきたアイデンティティや、グローバル社会の中での多様性を尊重する姿勢、現場(フィールド)での経験を重視した教育・研究を行う。

法・政策コース	法学, 政治学, 行政学
コミュニティ探究コース	社会学, 社会福祉学, 比較文化研究, 歴史学・考古学

(3) 経済経営専攻

経済経営専攻では、グローバルな視点に立つ経済学、これまでの常識や慣例にとらわれることなく、ほかの専攻と連携しながら、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力をもって、地域および世界の21世紀的課題に果敢に挑み社会に変革をもたらす、イノベーション人材を養成する。

経済学コース	経済学, 外国語, 外国文化
経営学コース	経営学, 会計学

学系 Researchers Department (研究組織 Research System)

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、8つの学系が存在し、各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して、自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・教育支援などに関わっている。

<p>教育学系 Education</p> <p>人間の存在と社会ならびにそれらの発達を、教育との関係において、多面的・多角的、統合的に理解することを目的に研究を行っている。教育の現象を論じる本学系ならではの特徴である。多様なテーマと観点のもと、諸問題に理論的かつ実践的にアプローチし、体系的な知の創造に向けた模索と挑戦を重ねている。</p>	<p>地域文化・言語学系 Regional Culture and Languages</p> <p>日本、アジア、世界の諸地域の社会、思想、歴史、文化、文学、芸術、言語を対象とした基礎的研究・応用的研究を推進するとともに、領域を超えた研究の連携や地域との協働的活動を通して、人間や社会の諸相について様々な視点から探究する。</p>
<p>健康・運動・心理学系 Health, Sports Science and Psychology</p> <p>健康・運動・心理学系に所属する教員は、体育、スポーツ、健康科学、心理学、医学等を専門とし、人と社会の身体的・心理的健康に寄与する研究と実践を行っている。</p>	<p>法・行政・社会学系 Law, Administration and Society</p> <p>政策や行政の制度の実態を踏まえ、法・政治・行政学的視点で、社会的・経済的諸問題を研究している。また、社会の構造及び地域社会の問題を踏まえ、政策化・社会計画化する視点で、地域の諸課題を研究している。そして、学系領域相互の有機的関連も視野に入れた研究を進めている。</p>
<p>経済・経営学系 Economics and Business Administration</p> <p>経済・経営学系には大別して経済学・経営学・会計学の3つの研究分野がある。各分野では、基礎理論の発展に資する研究が積み重ねられるとともに、地域社会や企業等の抱える上記分野に関連する課題の解決に向けた研究も進められている。</p>	<p>自然科学・情報学系 Natural Sciences and Informatics</p> <p>自然科学・情報学系は、数学・物理学・化学・環境科学・情報科学分野を研究領域とする教員から構成されている。 自然の真理を探究するとともに、環境保全や情報化社会などへの貢献も目指しながら研究している。</p>
<p>応用理工学系 Applied Science and Technology</p> <p>科学技術を社会に活かす目的を持って、研究を行っている。取り扱うテーマは多岐にわたり、学問分野横断的なテーマも多くある。共同研究など、産学連携活動が盛んなことも特徴である。</p>	<p>生物・農学系 Biological and Agricultural Sciences</p> <p>多様な生物と地域環境をめぐる自然科学に取り組むとともに、農林水産業や食品産業を牽引する新時代の農学を展開する。放射能に関する研究や社会科学の研究とともに、福島ならではの持続可能な社会の創造に貢献する。</p>



国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

海外協定校 International Partner Institutions

2023.5.1

国名 Nation	大学名 University	締結年月日 Effective Since	
中国 China	北京師範大学 Beijing Normal University	1990年12月11日 Dec. 11, 1990	
	華東師範大学 East China Normal University	1995年7月1日 Jul. 1, 1995	
	河北大学 Hebei University	1998年11月2日 Nov. 2, 1998	
	中南財經政法大学 Zhongnan University of Economics and Law	2001年3月22日 Mar. 22, 2001	
	西南交通大学 Southwest Jiaotong University	2011年9月1日 Sep. 1, 2011	
台湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University	2007年4月3日 Apr. 3, 2007	
	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	2017年9月28日 Sep. 28, 2017	
大韓民国 South Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2006年3月14日 Mar. 14, 2006	
	ソウル市立大学校 University of Seoul	2011年1月27日 Jan. 27, 2011	
	中央大学校 Chung-Ang University	2014年11月19日 Nov. 19, 2014	
	培材大学校 Pai Chai University	2018年11月6日 Nov. 6, 2018	
ベトナム Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities	2001年6月20日 Jun. 20, 2001	
	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 VNU University of Science	2007年9月24日 Sep. 24, 2007	
	ホアセン大学 Hoa Sen University	2016年2月18日 Feb. 18, 2016	
	トウイロイ大学 Thuyloi University	2016年12月6日 Dec. 6, 2016	
マレーシア Malaysia	マレーシア国際イスラム大学 International Islamic University Malaysia	2021年5月21日 May. 21, 2021	
インドネシア Indonesia	シアクアラ大学 Syiah Kuala University	2014年7月8日 Jul. 8, 2014	
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University	2017年7月11日 Jul. 11, 2017	
	サン・カルロス大学 University of San Carlos	2022年6月21日 Jun. 21, 2022	
オーストラリア Australia	クイーンズランド大学 University of Queensland	2001年10月26日 Oct. 26, 2001	
	ウィスコンシン大学オークレア校 University of Wisconsin Eau Claire	1992年12月8日 Dec. 8, 1992	
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1996年7月2日 Jul. 2, 1996	
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	2012年12月26日 Dec. 26, 2012	
	コロラド州立大学 Colorado State University	2013年6月3日 Jun. 3, 2013	
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	2014年1月24日 Jan. 24, 2014	
	オザークス大学 University of Ozarks	2015年6月10日 Jun. 10, 2015	
	ジョージア大学 University of Georgia	2015年9月2日 Sep. 2, 2015	
カナダ Canada	セント・トーマス大学 University of St. Thomas	2017年11月17日 Nov. 17, 2017	
	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University	2018年10月15日 Oct. 15, 2018	
	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia	2016年4月28日 Apr. 28, 2016	
	マクマスター大学 McMaster University	2017年8月4日 Aug. 4, 2017	
	スターリング大学 University of Stirling	2008年1月25日 Jan. 25, 2008	
	ウィンチェスター大学 University of Winchester	2010年5月29日 May. 29, 2010	
	グラスゴー大学 University of Glasgow	2017年3月6日 Mar. 6, 2017	
英国 U.K.	ポーツマス大学 University of Portsmouth	2017年6月7日 Jun. 7, 2017	
	ノーサンブリア大学 Northumbria University	2017年7月13日 Jul. 13, 2017	
	ドイツ Germany	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	2009年10月8日 Oct. 8, 2009
	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	2015年6月10日 Jun. 10, 2015	
ドイツ Germany	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	2016年4月21日 Apr. 21, 2016	
	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences	2018年5月16日 May. 16, 2018	
	オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	2017年7月5日 Jul. 5, 2017
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza	2018年2月28日 Feb. 18, 2018	
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	2016年6月28日 Jun. 28, 2016	
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest	2011年12月22日 Dec. 22, 2011	
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade	2017年3月6日 Mar. 6, 2017	
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana	2018年2月28日 Feb. 28, 2018	
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	2012年2月24日 Feb. 24, 2012	
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University	2017年1月11日 Jan. 11, 2017	
	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	2015年4月1日 Apr. 1, 2015	
	チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology	2015年4月1日 Apr. 1, 2015	
ウクライナ Ukraine	オデッサ国立環境大学 Odessa State Environmental University	2015年4月1日 Apr. 1, 2015	
	ノルウェー Norway	ノルウェー生命科学大学 Norwegian University of Life Sciences	2015年8月18日 Aug. 18, 2015
トルコ Turkey	アンカラ大学 Ankara University	2016年3月12日 Mar. 12, 2016	
	中東工科大学 Middle East Technical University	2016年4月28日 Apr. 28, 2016	
	エーゲ大学 Ege University	2017年3月6日 Mar. 6, 2017	



国名 Nation	大学名 University
中国 China	華東師範大学 East China Normal University
	河北大学 Hebei University
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology
台湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University
	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages
大韓民国 South Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies
	ソウル市立大学校 University of Seoul
	中央大学校 Chung-Ang University
	培材大学校 Pai Chai University
ベトナム Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities
	トゥイロイ大学 Thuy loi University
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University
アメリカ合衆国 U.S.A.	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York
	コロラド州立大学 Colorado State University
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University
	オザークス大学 University of Ozarks
	セント・トーマス大学 University of St. Thomas
	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University
	ノーサンブリア大学 Northumbria University
英国 U.K.	グラスゴー大学 University of Glasgow
	スターリング大学※ University of Stirling
	ウィンチェスター大学※ University of Winchester
	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum
ドイツ Germany	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society
	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences
	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen
オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University
トルコ Turkey	アンカラ大学 Ankara University
	中東工科大学 Middle East Technical University
	エーゲ大学 Ege University

※ スターリング大学、ウィンチェスター大学は、本学学生派遣に係る付帯協定を締結

学生交流協定における交換留学 Student Exchanges

2022.4.1-2023.3.31

派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students
文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	1
オザークス大学 University of Ozarks	1
ノーサンブリア大学 Northumbria University	1
グラスゴー大学 University of Glasgow	1
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	1
ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	1
サラゴサ大学 University of Zaragoza	1
中東工科大学 Middle East Technical University	1

受入大学 Home Institution	人数 Number of Students
河北大学 Hebei University	3
文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	2
ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	5
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	2
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	3
ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	3
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	1
ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	1

※ オンライン留学を含む



歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS



西 沢 喜洋芽
NISHIZAWA Kiyome
昭24. 5.31～昭29. 2.17
新制福島大学初代学長
S24.5福島大学設置
S27.4(短)併設経済短期
大学部設置(夜間3年・学
生定員80)



安 田 初 雄
YASUDA Hatsuo
(事務取扱)
昭46. 4. 1～昭48. 2.16
S46.11(評)統合推進方針
を最終決定



白 井 嘉 一
USUI Yoshikazu
平14. 2.16～平16. 3.31
平16. 4. 1～平18. 3.31
H16.4国立大学法人福島
大学として学生受入開始
H16.10福島大学全学再
編。3学部から2学群4学
類12学系制度へ移行。人
文社会学群に夜間主コー
スを設置



阿 部 久 次
ABE Kyuji
昭29. 2.17～昭32. 2.16
昭32. 2.17～昭35. 2.16
昭35. 2.17～昭37.10.30
S31.4(経)経済学専攻科
設置(経理経営専攻)



渡 辺 源次郎
WATANABE Genjiro
昭51. 2.16～昭54. 2.15
昭54. 2.16～昭56. 2.15
S51.5(院経)大学院・経
済学研究科(経済学専攻)
修士課程新設。経済学部
専攻科廃止
S52.4(育)附属看護学校
設置
S54.4(育)幼稚園教員養
成課程設置



今 野 順 夫
KONNO Toshio
平18. 4. 1～平22. 3.31
H20.4大学院共生システ
ム理工学研究科(修士課
程)設置
H21.4大学院人間発達文
化研究科(修士課程)設置



服 部 英太郎
HATTORI Eitaro
昭37.10.30～昭40.10.29
昭40.10.30～昭40.12.20
S39.4(芸)専攻科に教育
専攻設置(学生定員5)
S40.4(経)経営学科拡充
改組・学生定員40増



伊 藤 巳喜夫
ITO Mikio
昭56. 2.16～昭59. 2.15
S56.4保健管理センター
設置。(育)教育実践研究
指導センター設置



入 野 修
NITTONO Osamu
平22. 4. 1～平26. 3.31
H22.4大学院共生システ
ム理工学研究科(博士課
程)設置
H23.4うつくしまふくしま
未来支援センター設置
H24.4国際交流センター
設置
H25.7環境放射能研究所
設置



平 井 博
HIRAI Hiroshi
(事務取扱)
昭40.12.20～昭41. 2.18
S40.12服部英太郎学長急
逝のため、平井博学芸学
部部長が学長事務取扱に就
任



山 田 舜
YAMADA Akira
昭59. 2.16～昭62. 2.15
昭62. 2.16～平元. 2.15
S60.4(院育)教育学研究
科修士課程新設
S61.4(院経)経営学専攻
設置(社会人受入)
S62.10(行)行政社会学部
(行政学科学学生定員160・
応用社会学科学学生定員
80)設置



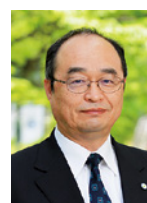
中 井 勝 己
NAKAI Katsumi
平26. 4. 1～平30. 3.31
平30. 4. 1～令2. 3.31
H28.4アドミッション
センター設置
H29.4教職大学院(人間発
達文化研究科教職実践専
攻)設置
H31.4福島大学全学再編。
農学群畜産学群設置
大学院共生システム理工学
研究科環境放射能学専攻
(修士課程)設置



海 後 勝 雄
KAIJO Katsuo
昭41. 2.18～昭43.10.15
S41.4(芸)教育学部に名
称を変更。(育)特別教科
(理科)教員養成課程設置
(学生定員30)。(育)附属
幼稚園設置
S42.4(育)附属小学校に
特殊学級設置



篠 筈 憲 爾
SASAKI Kenji
平元. 2.16～平4. 2.15
H1.4(行)(経)福島大学地
域研究センター発足
H3.4(経)16講座を5大講
座に再編成



三 浦 浩 喜
MIURA Hiroki
令2. 4. 1～
R2.4学系を13学系から
8学系に再編
R3.4発酵醸造研究所設置
R4.4地域未来デザインセ
ンター・教職課程センター・
キャリアセンター設置
R5.4福島大学大学院再
編。地域デザイン科学研究
科(修士課程)設置。教
職実践研究科(専門職学
位課程)設置。食農科学
研究科(修士課程)設置



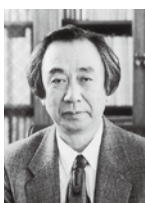
玉 山 勇
TAMAYAMA Isamu
(事務取扱)
昭43.10.15～昭44.12. 4
昭48. 2.16～昭51. 2.15
S44.4(育)附属中学校に
特殊学級設置。福島大学
計算センター設置
S48.3(文)に移転統計
画書を提出



星 埜 惇
HOSHINO Atsushi
平4. 2.16～平7. 2.15
H5.4(院行)地域政策科学
研究科設置



野 村 正 次
NOMURA Masaji
(事務取扱)
昭44.12. 4～昭46. 3.31
S45.7統合に関するマス
タープラン作成委員会設
置



吉 原 泰 助
YOSHIHARA Taisuke
平7. 2.16～平10. 2.15
平10. 2.16～平12. 2.15
平12. 2.16～平14. 2.15
H7.4生涯学習教育研究セ
ンター設置
H13.4地域創造支援セン
ター設置

役職員

ADMINISTRATORS

2023.5.1

学長 President	三浦浩喜 MIURA Hiroki
理事・副学長(総務担当) Executive Director・Vice President (General Affairs)	塩谷弘康 SHIOYA Hiroyasu
理事・副学長(研究・地域連携担当) Executive Director・Vice President (Research and Regional Affairs)	
研究推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Research	佐野孝治 SANO Koji
統括学系長 Chair, Researchers' Department	
理事(財務・財務戦略・施設・基金担当) Executive Director (Finance, Financial Strategy, Facility and Fund Affairs)	内藤雷太 NAITO Raita
事務局長 Director General	
理事(経営マネジメント担当)※非常勤 Executive Director (Business Management Affairs)	鈴木廣明 SUZUKI Hiroaki
理事(エンゲージメント担当)※非常勤 Executive Director (Engagement Affairs)	濱津さとみ HAMATSU Satomi
監事 Auditor	上井喜彦 KAMII Yoshihiko
監事 Auditor	橋本潤子 HASHIMOTO Junko
副学長(教育・学生担当) Vice President (Education and Academic Affairs)	谷雅泰 TANI Masayasu
教育推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Education	
副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当) Vice President (Public Relations, Admission, Employment and Global Affairs)	
国際交流センター長 Director, International Center	田中明 TANAKA Akira
アドミッションセンター長 Director, Admission Center	
キャリアセンター長 Director, Career Center	
副学長(学術情報・大学間連携担当) Vice President (Academic Information, Inter-University Affairs)	
附属図書館長 Director, University Library	新田洋司 NITTA Yoji
情報基盤センター長 Director, Information Technology Center	
副理事 Vice Director	山崎裕 YAMAZAKI Yutaka
人文社会学群長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	初澤敏生 HATSUZAWA Toshio
理工学群長 Provost, Cluster of Science and Technology	長橋良隆 NAGAHASHI Yoshitaka
農学群長 Provost, Cluster of Agricultural	荒井聡 ARAI Satoshi
人間発達文化学類長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	初澤敏生 HATSUZAWA Toshio
行政政策学類長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	高橋準 TAKAHASHI Jun
経済経営学類長 Dean, Faculty of Economics and Business Administration	井上健 INOUE Ken
共生システム理工学類長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	長橋良隆 NAGAHASHI Yoshitaka
食農学類長 Dean, Faculty of food and Agricultural Sciences	荒井聡 ARAI Satoshi
地域デザイン科学研究科長 Dean, Graduate School of Regional Design	小野原雅夫 ONOHARA Masao
共生システム理工学研究科長 Dean, Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology	長橋良隆 NAGAHASHI Yoshitaka
食農科学研究科長 Dean, Graduate School of Food and Agricultural Sciences	荒井聡 ARAI Satoshi
教職実践研究科長 Dean, Graduate School of Professional Teacher Education	宗形潤子 MUNAKATA Junko
基盤教育主管 Director, Foundation Education	福富靖之 FUKUTOMI Yasuyuki
地域未来デザインセンター長 Director, Community Future Design Center	鈴木典夫 SUZUKI Norio
保健管理センター長 Director, Healthcare Center	片山規央 KATAYAMA Tadahiro
教職課程センター長 Director, Center for Curriculum of Teacher Education	杉田政夫 SUGITA Masao
環境放射能研究所長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難波謙二 NANBA Kenji
附属幼稚園長 Kindergarten Principal	川田潤 KAWATA Jun
附属小学校長 Elementary School Principal	佐藤佐敏 SATO Satoshi
附属中学校長 Junior High School Principal	横島浩 YOKOSHIMA Hiroshi
附属特別支援学校長 Special Needs Education School Principal	朝賀俊彦 ASAKA Toshihiko
学長室長 Chief, President Unit	山崎裕 YAMAZAKI Yutaka
監査室長 Chief, Auditing Unit	渡邊能仁 WATANABE Yoshihito
総務課長 Chief, General Affairs Division	森津宏枝 MORITSU Hiroe
人事課長 Chief, Personnel Division	佐藤和弘 SATO Kazuhiro
財務課長 Chief, Financial Affairs Division	八木澤寛 YAGISAWA Hiroshi
施設課長 Chief, Facilities Division	阿部高男 ABE Takao
教務課長 Chief, Educational Affairs Division	加藤千里 KATO Chisato
学生・留学生課長 Chief, Student And Student Studying Abroad Affairs Division	伊藤敬義 ITO Takayoshi
キャリア支援課長 Chief, Career Support Division	高野佐知子 TAKANO Sachiko
入試課長 Chief, Admissions Office	木村真美 KIMURA Matsumi
研究・地域連携課長 Chief, Research Promotion and Regional Collaboration Division	木村勝典 KIMURA Katsunori
学術情報課長 Chief, Academic Information Division	小沼清二 ONUMA Seiji

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2023.5.1

学外委員		
石山純恵 株式会社クリフ代表取締役		ISHIYAMA Sumie
岩淵明 岩手大学名誉教授		IWABUCHI Akira
遠藤雄幸 川内村村長		ENDO Yuko
尾形真一郎 福島市政策調整部次長兼デジタル改革室長		OGATA Shinichiro
加藤知道 元福島県立橋高等学校校長		KATO Tomomichi
土田淳 一般財団法人大原記念財団副理事長		TSUCHIDA Atsushi
中村考昭 ゼビオホールディングス株式会社副社長執行役員		NAKAMURA Takaaki
羽田貴史 広島大学名誉教授・東北大学名誉教授		HATA Takashi
学内委員		
三浦浩喜 学長		MIURA Hiroki
塩谷弘康 理事・副学長(総務担当)		SHIOYA Hiroyasu
佐野孝治 理事・副学長(研究・地域連携担当)		SANO Koji
内藤雷太 理事(財務・財務戦略・施設・基金担当), 事務局長		NAITO Raita
谷雅泰 副学長(教育・学生担当)		TANI Masayasu
田中明 副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当)		TANAKA Akira
新田洋司 副学長(学術情報・大学間連携担当)		NITTA Yoji

役員
経営協議会委員

教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCH COUNCIL

2023.5.1

三浦浩喜	学長	MIURA Hiroki
塩谷弘康	理事・副学長(総務担当)	SHIOYA Hiroyasu
佐野孝治	理事・副学長(研究・地域連携担当)	SANO Koji
内藤雷太	理事(財務・財務戦略・施設・基金担当), 事務局長	NAITO Raita
谷雅泰	副学長(教育・学生担当)	TANI Masayasu
田中明	副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当)	TANAKA Akira
新田洋司	副学長(学術情報・大学間連携担当)	NITTA Yoji
初澤敏生	人間発達文化学類長	HATSUZAWA Toshio
高橋準	行政政策学類長	TAKAHASHI Jun
井上健	経済経営学類長	INOUE Ken
長橋良隆	共生システム理工学類長	NAGAHASHI Yoshitaka
荒井聡	食農学類長	ARAI Satoshi
井實充史	人間発達文化学類教授	IJITSU Michifumi
小川宏	人間発達文化学類教授	OGAWA Hiroshi
菊地芳朗	行政政策学類教授	KIKUCHI Yoshio
福島雄一	行政政策学類教授	FUKUSHIMA Yuichi
奥本英樹	経済経営学類教授	OKUMOTO Hideki
熊澤透	経済経営学類教授	KUMAZAWA Toru
大山大	共生システム理工学類教授	OYAMA Dai
柴崎直明	共生システム理工学類教授	SHIBASAKI Naoaki
松田幹	食農学類教授	MATSUDA Tsukasa
神宮宇寛	食農学類教授	JINGUJI Hiroshi
小野原雅夫	地域デザイン科学研究科長	ONOHARA Masao
長橋良隆	共生システム理工学類研究科長	NAGAHASHI Yoshitaka
荒井聡	食農科学研究科長	ARAI Satoshi
宗形潤子	教職実践研究科長	MUNAKATA Junko
福富靖之	基盤教育主管	FUKUTOMI Yasuyuki
鈴木典夫	地域未来デザインセンター長	SUZUKI Norio
難波謙二	環境放射能研究所長	NANBA Kenji

教育研究評議会評議員
役職員数

役職員数

NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

2023.5.1

区分 Division	職種 Job Classification	役員 Directors			教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
		学長 President	理事 Executive Director	監事 Auditor									
現員 Number of Regular Staff		1	5 ^{*1}	2 ^{**2}	130	88	3	1	0	230	83	131 ^{**3}	444
役員 Directors		1	5 ^{*1}	2 ^{**2}						8			8
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture					31	19	2			52			52
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences					19	16				35			35
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration					23	13				36			36
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science					30	15				45			45
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences					21	15	1			37			37
附属図書館 University Library													
保健管理センター Healthcare Center					1					1		2	3
地域未来デザインセンター Community Future Design Center					1					1			1
情報基盤センター Information Technology Center						1				1			1
教育推進機構 Organization for the Promotion of Education						2				2			2
学校臨床支援センター School Clinical Support Center					2	1				3			3
国際交流センター International Center						1				1			1
アドミッションセンター Admission Center													
アクセシビリティ支援室 Accessibility support room								1		1			1
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity					2	5				7			7
附属幼稚園 Kindergarten											4		4
附属小学校 Elementary School											29	2	31
附属中学校 Junior High School											22		22
附属特別支援学校 Special Needs Education School											28		28
事務局 Administration Bureau												127	127

※1 常勤3名、非常勤2名

※2 監事は非常勤

※3 各部署等に配置される職員を含む

入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES 2023.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	2,216	730
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	781	288
行政政策学類(昼間) Faculty of Administration and Social Sciences (Daytime)	884	193
行政政策学類(夜間主) Faculty of Administration and Social Sciences (Evening)	38	22
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	513	227
理工学群 Cluster of Science and Technology	1,024	173
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	1,024	173
農学群 Cluster of Agricultural Sciences	371	109
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	371	109
合計 Total	3,611	1,012

※ 編入学・学士入学は除く
 ※ 私費外国人留学生及びマレーシア政府派遣留学生を含む

大学院(修士課程・博士前期課程・専門職学位課程) GRADUATE SCHOOL 2023.5.1

研究科 Graduate School	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
地域デザイン科学研究科 Regional Design	43	31
共生システム理工学研究所 Symbiotic Systems Science and Technology	54	50
食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	46	45
教職実践研究科(教職大学院) Professional Teacher Education	19	15
合計 Total	162	141

※ 共生システム理工学研究所と食農科学研究科は10月期入学試験も実施予定。
 表では令和5年度4月期入学のみ計上。
 ※ 令和4年度の10月期入学は、共生システム理工学研究所で入学志願者1名、入学者1名

大学院(博士後期課程) GRADUATE SCHOOL 2023.5.1

研究科 Graduate School	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
共生システム理工学研究所 Symbiotic Systems Science and Technology	7	7
合計 Total	7	7

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES 2023.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	区分 Classification	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現員 Present Number of Students					
				1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total	
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		685 ⁽⁹⁾	2,740 ⁽⁶⁾	361 369	336 364	369 368	454 338	1,520 1,439	2,959
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		260 ⁽¹⁰⁾	1,040 ⁽²⁰⁾	118 170	92 172	116 163	130 159	456 664	1,120
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		205 ⁽¹⁰⁾	820 ⁽²⁰⁾	105 110	110 98	106 119	132 110	453 437	890
昼間 Daytime		185 ⁽¹⁰⁾	740 ⁽²⁰⁾	96 97	99 88	96 110	116 100	407 395	802
夜間主 Evening		20	80	9 13	11 10	10 9	16 10	46 42	88
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		220 ⁽¹⁰⁾	880 ⁽²⁰⁾	138 89	134 94	147 86	188 66	607 335	942
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society				0 0	0 0	0 0	4 3	4 3	7
理工学群 Cluster of Science and Technology		160	640	128 45	135 41	142 33	153 41	558 160	718
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		160	640	128 45	135 41	142 33	153 41	558 160	718
農学群 Cluster of Agricultural Sciences		100	400	50 59	56 50	49 54	47 51	202 214	416
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences		100	400	50 59	56 50	49 54	47 51	202 214	416
合計 Total		945 ⁽³⁰⁾	3,780 ⁽⁶⁰⁾	539 473	527 455	560 455	654 430	2,280 1,813	4,093

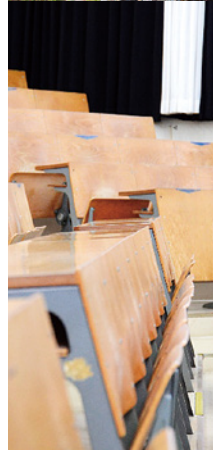
※ ○は3年次編入学学生定員で外数 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子
 ※ 夜間主コース(現代教養コース)の学生受入は平成30年度まで

大学院(修士課程・博士課程・専門職学位課程) GRADUATE SCHOOL 2023.5.1

研究科名 Graduate School	専攻名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現員 Present Number of Students	
					合計 Total	合計 Total
地域デザイン科学研究科 Regional Design	人間文化専攻 Human Culture and Science	修士課程 Master	20	20	10 13	23
		修士課程 Master	8	8	1 4	5
		修士課程 Master	14	14	3 0	3
共生システム理工学研究所 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	40	93	85 19	104
		博士後期課程 Doctor	4	12	10 4	14
		博士前期課程 Master	5	12	5 1	6
		博士後期課程 Doctor	2	6	2 2	4
食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	食農科学専攻 Food and Agricultural Sciences	修士課程 Master	20	20	33 12	45
教職実践研究科 Professional Teacher Education	教職高度化専攻 Advanced Practice for Professional Teacher	専門職学位課程(教職大学院) Professional Degree	12	12	7 8	15
		専門職学位課程(教職大学院) Professional Degree		16	3 5	8
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master		17	6 8	14
		修士課程 Master		7	1 7	8
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	地域政策科学専攻 Public Policy and Region Administration	修士課程 Master		20	9 4	13
		修士課程 Master		10	6 1	7
経済学研究科 Economics	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master		12	14 1	15
		修士課程 Master			1 89	284
合計 Total			125	279	195 89	284

※ 黒文字は男子、赤文字は女子 ※ 令和5.4地域デザイン科学研究科、食農科学研究科、教職実践研究科開設(令和5.4学生受入)
 ※ 人間発達文化研究科、地域政策科学研究科、経済学研究科の学生受入は令和4年度まで

入学志願者及び入学者
学生の定員及び現員



卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2023.5.1

区分 Classification	学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	H20~ H29 2008~ 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	計 Total
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences			8,041	807	791	834	786	713	11,972
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture			2,860	295	293	297	291	273	4,309
行政政策学類(夜間主を含む) Faculty of Administration and Social Sciences			2,248	237	205	222	222	222	3,356
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration			2,351	224	233	253	220	214	3,495
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society			582	51	60	62	53	4	812
理工学群 Cluster of Science and Technology			1,714	184	188	175	190	151	2,602
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science			1,714	184	188	175	190	151	2,602
農学群 Cluster of Agricultural Sciences								103	103
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences								103	103
合計 Total			9,755	991	979	1,009	976	967	14,677

※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17.4学生受入)

大学院 GRADUATE SCHOOL

2023.5.1

科・課程 Course	修了年度 Year	S52~ H28 1977~ 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	計 Total
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	専門職学位課程 (教職大学院) Professional Degree			16	15	11	12	12	66
	修士課程 Master	265	32	30	32	18	24	21	422
教育学研究科 Education	修士課程 Master	719							719
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional administration	修士課程 Master	299	7	7	8	6	8	9	344
経済学研究科 Economics	修士課程 Master	397	17	14	9	9	18	15	479
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	修士課程 Master	85				7	2		94
	博士前期課程 Master	235	29	43	37	40	31	46	461
	博士後期課程 Doctor	15	3	4	2	3	4	3	34
合計 Total		2,015	88	114	103	94	99	106	2,619

※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がない為、廃止

学部 Faculty	区 分 Classification	課程及び学科 Course or Department	S25～H23 1950～2011
			計 Total
教育学部 Faculty Education			21,264 ※1
		小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	9,338 ※2
		中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	5,222 ※2
		養護学校教員養成課程 Teachers Course for Mentally and Physically Handicapped Children	485 ※2
		幼稚園教員養成課程 Kindergarten Teachers Course	590 ※2
		生涯教育課程 Department of Lifelong Education	835 ※3
		学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training	1,337
		特別教科(理科)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Science Education)	601
		特別教科(保健体育)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)	1,188
		その他 Others	7
	2年課程 Two Year Courses	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	1,004 ※4
		中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	657 ※4
行政社会学部 Faculty of Administration and Social Sciences			4,554 ※1
	昼間主コース Daytime-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department	2,469
		応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	1,058
	夜間主コース Evening-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department	620
		応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	407
経済学部 Faculty of Economics			15,353 ※1
	昼間主コース Daytime-centered Courses	経済学科 Economics Department	6,211 ※5
		経営学科 Business Administration Department	4,197 ※5
		現代経済課程 Contemporary Economics Course	838
		企業経営課程 Business Management Course	1,206
		国際経済社会課程 International Economics and Society Course	599
		産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course	151
	夜間主コース Evening-centered Courses	経済学科 Economics Department	919 ※5
		経営学科 Business Administration Department	717 ※5
		現代経済課程 Contemporary Economics Course	205
		企業経営課程 Business Management Course	310
短大 Junior College			2,116 ※6
		経営学科 Business Administration Department	
合 計 Total			43,287

※1 教育学部、行政社会学部、経済学部は平成17年度から学生募集停止
 ※2 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程は平成11年度から学生募集停止
 ※3 生涯教育課程は平成7年4月設置
 ※4 2年課程は昭和33年度から学生募集停止
 ※5 経済学部経済学科、経営学科は平成8年度から学生募集停止
 ※6 短大は昭和55年3月廃止

専攻科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

専攻 Course	修了年度 Year	S31～H3 1956～1991
		計 Total
教育専攻科 Education	保健体育専攻 Physical Education	30
	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Accounting and Management	24



卒業生就職状況(令和4年度)

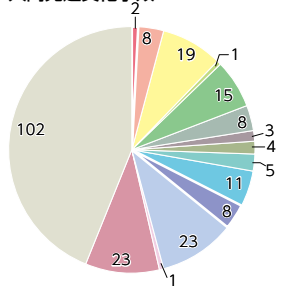
EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

2023.5.1

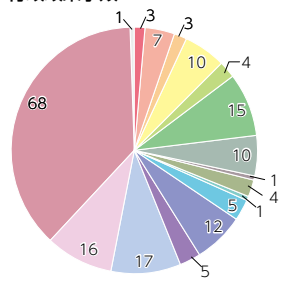
区分 Classification	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		夜間主コース 現代教職コース Faculty of Liberal Arts for Modern Society		行政政策学類 (夜間主) Faculty of Administration and Social Sciences		共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences		合計 Total	
	計 Sub Total		計 Sub Total		計 Sub Total		計 Sub Total		計 Sub Total		計 Sub Total		計 Sub Total			
卒業生 Total Graduates	107 166	273	97 109	206	147 67	214	2 2	4	11 5	16	128 23	151	52 51	103	544 423	967
就職者 Total Employed	92 141	233	83 99	182	132 60	192			7 5	12	77 15	92	30 36	66	421 356	777
業種別 業種別																
農、林、漁、鉱業 Agriculture, Forestry, Fishing, Mining													1 1	2	1 1	2
建設業 Construction	1 1	2	2 1	3	8 4	12			1	1	7 7	7	1	1	19 7	26
製造業 Manufacturing	2 6	8	3 4	7	8 4	12					17 2	19	2 6	8	32 22	54
電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat Supply and Water			3	3	2 1	3					2 2	2	1	1	8 1	9
情報通信業 Information and Communications	11 8	19	5 5	10	19 13	32					20 7	27	5 2	7	60 35	95
運輸業、郵便業 Transport and Postal Activities	1	1	3 1	4	2 1	3			1	1	1 1	1			7 3	10
卸売業、小売業 Wholesale and Retail Trade	5 10	15	8 7	15	12 11	23			1 1	2	1 1	1	3 6	9	29 36	65
金融業 Finance	1 7	8	5 5	10	16 10	26			1 2	3	2 2	2	1 2	3	26 26	52
保険業 Insurance	2 1	3	1 1	1	3 1	4									3 5	8
不動産業、物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	3 1	4	3 1	4	3 1	4					1 1	1	1	1	10 4	14
宿泊業、飲食サービス業 Accommodations, Eating and Drinking Services	1 4	5	1 1	1	1 1	2							1	1	3 6	9
教育、学習支援業 Education, Learning Support	8 3	11	3 2	5	3 3	3					1 1	2			15 6	21
医療、福祉 Medical, Health Care and Welfare	8	8	5 7	12	2 2	4							1	1	7 18	25
複合サービス事業 Compound Services			1 4	5	1 1	2							3 1	4	5 6	11
サービス業 Service Industry	11 12	23	6 11	17	18 6	24					12 12	12	2 3	5	49 32	81
国家公務員 National Government Services	1	1	8	16	2	2					3	3	4 1	5	18 9	27
地方公務員 Local Government Services	7 16	23	27 41	68	33 2	35			4	4	7 2	9	7 10	17	85 71	156
教員 Teaching	38 64	102	1	1	1	1			1 1	2	3 2	5	1 1	1	43 67	110
自営業 Self-Employment									1	1	1	1			1 1	2
未定 Undetermined	1 3	4	1	1	3 2	5					2 2	4			7 7	14
進学 Furthering Studies	9 17	26	4 2	6	4	4	1	1			48 5	53	20 13	33	85 38	123
進学準備 Preparation for further study	1	1			1	1									2	2
有職者 Already Employed									3	3					3	3
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	3 3	6	7 3	10	5 4	9	1	1	1	1					17 10	27
その他 Others	1 2	3	2 5	7	1 1	3	1 1	2			1 1	2	2 2	4	9 12	21
就職率(%) 就職者÷就職希望者(就職者+未定)	98.9% 97.9%	98.3%	98.8% 100.0%	99.5%	97.8% 96.8%	97.5%			100.0% 100.0%	100.0%	97.5% 88.2%	95.8%	100.0% 100.0%	100.0%	98.4% 98.1%	98.2%

※ 上段(黒)は男子, 下段(赤)は女子

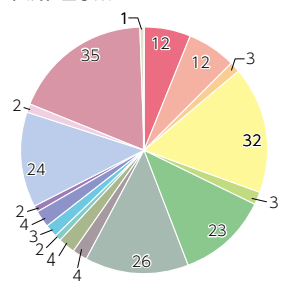
人間発達文化学類



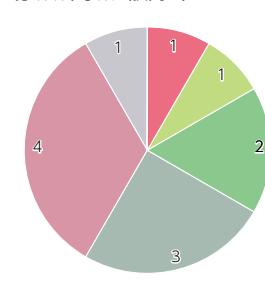
行政政策学類



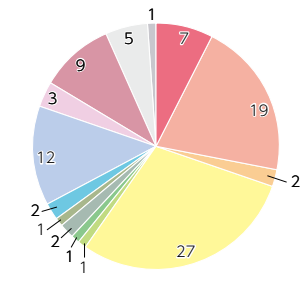
経済経営学類



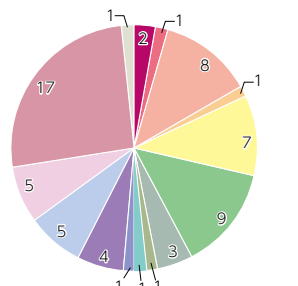
行政政策学類(夜間主)



共生システム理工学類



食農学類



- 農、林、漁、鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 金融業
- 保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 国家公務員
- 地方公務員
- 教員
- 自営業

外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳 FACULTIES

2023.5.1

学類・研究科 Faculty・Graduate School	学類 Undergraduate School		大学院 Graduate School		計 Total
	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	
人間発達文化学類・人間発達文化研究科 Human Development and Culture	10 (8)	0	0	0	10 (8)
行政政策学類・地域政策科学研究科 Administration and Social Sciences Public Policy and Regional Administration	4 (1)	2	0	0	6 (1)
経済経営学類・経済学研究科 Economics and Business Administration Economics	23 (4)	13	1	2	39 (4)
共生システム理工学類・共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science Symbiotic Systems Science and Technology	8 (1)	1 (1)	(博士前期)6 (博士後期)3 (2)	1	19 (3) (1)
食農学類・食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	2	0	1	0	3
地域デザイン科学研究科 Regional Design			5 (3)	0	5 (3)
計 Total	47 (14)	16 (1)	16 (5)	3	82 (6) (14)

※教職実践研究科(教職大学院)は在籍留学生なし

国別留学生数 NATIONALITIES

2023.5.1

国・地域 Nation・Region	学類 Undergraduate School		大学院 Graduate School		計 Total
	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	
中国 People's Republic of China	13	5	9	0	27
マレーシア Malaysia	16 (14)	0	0	0	16 (14)
ベトナム Socialist Republic of Vietnam	14	0	0	0	14
ドイツ Federal Republic of Germany	0	5	0	0	5
台湾 Taiwan	1	1	1	0	3
オランダ Kingdom of the Netherlands	0	2	0	0	2
セルビア Republic of Serbia	0	0	2 (2)	0	2 (2)
ハンガリー Republic of Hungary	0	0	0	2	2
バングラデシュ People's Republic of Bangladesh	0	0	2 (2)	0	2 (2)
ベラルーシ Republic of Belarus	0	2	0	0	2
モンゴル Mongolia	0	0	1	0	1
インドネシア Republic of Indonesia	1	0	0	0	1
ウクライナ Ukraine	0	0	0	1	1
セネガル Republic of Senegal	0	1 (1)	0	0	1 (1)
タイ Kingdom of Thailand	1	0	0	0	1
大韓民国 Republic of Korea	1	0	0	0	1
ブラジル Federative Republic of Brazil	0	0	1 (1)	0	1 (1)
計 Total	47 (14)	16 (1)	16 (5)	3	82 (6) (14)

※ 赤字()は国費留学生で内数 ※ 青文字()は外国政府派遣留学生で内数 ※ 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨学生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2023.5.1

学類・大学院 Faculty・Graduate School	対象学生数 Number of Eligible Applicants	日本学生支援機構奨学生 Japan Student Services Organization				計 Total	比率(%) Ratio	その他の奨学生 Other Scholarship
		給付奨学金 Grant-type scholarship		貸与奨学金 Loan-based scholarship				
		第1種 Loan 1	第2種 Loan 2	第1種 Loan 1	第2種 Loan 2			
人文社会学群 Faculty of Human Development and Culture	813	80	178	156	414	50.9%	18	
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	653	74	158	98	330	50.5%	8	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	683	78	163	137	378	55.3%	3	
理工学群 Faculty of Symbiotic Systems Science	519	46	108	85	239	46.1%	3	
農学群 Faculty of Food and Agricultural Sciences	303	22	69	47	138	45.5%	5	
大学院 Graduate School	111	0	23	2	25	22.5%	4	
合計 Total	3,082	300	699	525	1,524	49.4%	41	

※ 基準日現在、1年生は未決定のため除く。

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2023.5.1

学校別 School	入学(園)定員 Applicant Capacity	総定員 Student Capacity	現員 Present Number						合計 Total	
			1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year		
附属幼稚園 Kindergarten	30	90	3才児 4	3才児 11	4才児 11	4才児 12	5才児 14	5才児 16	29 39	68
附属小学校 Elementary School	105	630	51 51	51 53	51 52	55 48	51 52	58 43	317 299	616
附属中学校 Junior High School	140	420	74 66	68 71	78 61				220 198	418
附属特別支援学校 Special Needs Education School	17	60	10 7	7 8	11 6	2 0	3 0	1 2	34 23	57
小学部 1-6	3	18	2 1	2 1	2 1	2 0	3 0	1 2	12 5	17
中学部 7-9	6	18	3 3	2 2	5 1				10 6	16
高等部 10-12	8	24	5 3	3 5	4 4				12 12	24
合計 Total	292	1,200							600 559	1,159

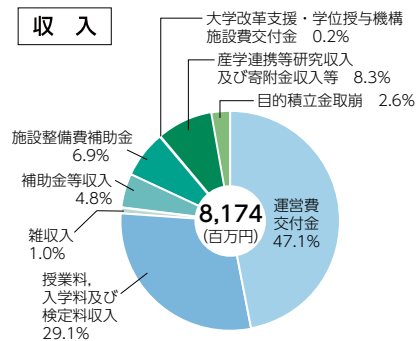
※ 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級 ※ 黒文字は男子、赤字は女子



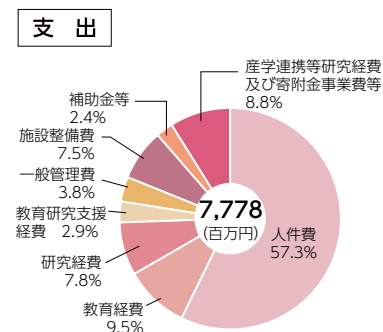
収入・支出決算額(令和4年度) ※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

CLOSING ACCOUNTS : REVENUE AND EXPENDITURE 2022

収入 REVENUE		(百万円)	
区分 Division of Revenue	[令和4年度] Amount [2022]	[令和3年度] Amount [2021]	
運営費交付金 Total Grant for Management Expense	3,846	3,666	
授業料、入学料及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,379	2,329	
財産処分収入 Income earned through Disposition of Property	—	—	
雑収入 Miscellaneous Income	84	137	
補助金等収入 Subsidy Income	390	504	
施設整備費補助金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	567	441	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 Grant-in-Aid from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	13	24	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	679	576	
引当金取崩 Reserve Fund Reversal	—	—	
目的積立金取崩 Purpose Reserve Fund Reversal	213	117	
合計 Total	8,174	7,797	



支出 EXPENDITURE		(百万円)	
区分 Division of Expenditure	[令和4年度] Amount [2022]	[令和3年度] Amount [2021]	
人件費 Personal Expenses	4,460	4,018	
教育経費 Education Expenses	736	1,048	
研究経費 Research Expenses	610	689	
教育研究支援経費 Expenses for Supporting Education and Research	225	120	
一般管理費 Administrative Expenses	293	301	
施設整備費 Supplies and Equipment Cost	580	465	
補助金等 Subsidy	186	308	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	686	572	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 Payment to the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	—	—	
合計 Total	7,778	7,524	

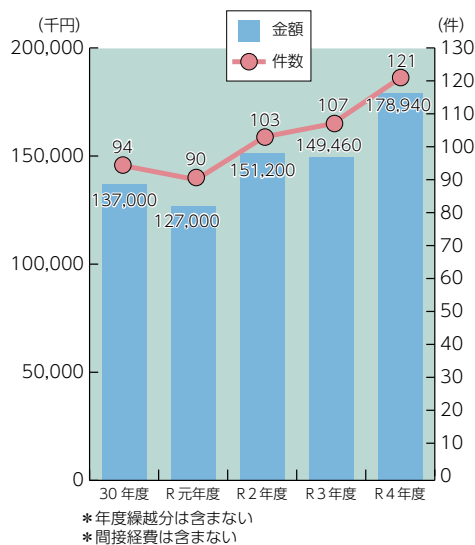


科学研究費助成事業

GRANTS-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

令和4年度 Fiscal Year 2022

研究種目 Research Category	件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	0	0	0
基盤研究(S) Scientific Research (S)	0	0	0
基盤研究(A) Scientific Research (A)	4	29,200	8,760
基盤研究(B) Scientific Research (B)	14	47,300	14,190
基盤研究(C) Scientific Research (C)	70	56,340	16,902
挑戦的研究(開拓) Challenging Research Pioneering	1	4,800	1,440
挑戦的研究(萌芽) Challenging Research Exploratory	5	9,600	2,880
若手研究 Early-Career Scientists	23	16,800	5,040
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	2	1,700	510
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	0	0	0
研究成果公開促進費(データベース) Publication of Scientific Research Results (Databases)	0	0	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	1	1,200	360
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) Fund for the Promotion of Joint International Research (Fostering Joint International Research)	1	12,000	3,600
合 計 Total	121	178,940	53,682

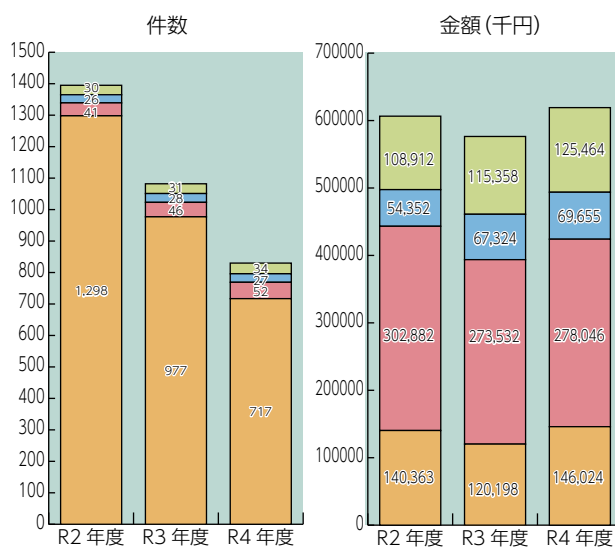
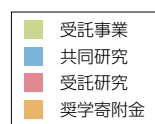


外部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

令和4年度 Fiscal Year 2022

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	717	146,024
受託研究 Contract Research	52	278,046
共同研究 Cooperative Research	27	69,655
受託事業 Trustee Business	34	125,464
合 計 Total	830	619,189



学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2023.5.1

部局等 Division	刊行物名 Name	年発行回数 Issues per year
福島大学 Fukushima University	福島大学研究年報 Annual Report of Fukushima University	1回
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	福島大学人間発達文化学類論集 Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture	2回
	福島大学教職実践研究 Annual Report of Research on Teaching Practice Fukushima University	1回
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	行政社会論集 The Journal of Administration and Social Sciences	4回
	商学論集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4回
保健管理センター Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1回
地域未来デザインセンター Community Future Design Center	地域未来デザインセンター年報 Annual Report of Community Future Design Center	1回
	福島大学地域創造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2回
学校臨床支援センター School Clinical Support Center	学校臨床支援センター紀要 Bulletin of School Clinical Support Center	2回



学
内
術
施
刊
設
行
等
物

学内施設等

CAMPUS FACILITIES

附属図書館 UNIVERSITY LIBRARY

蔵書数 BOOKS AND PERIODICALS

2023.3.31

和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total	雑誌 Periodicals		
			和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
730,471	237,471	967,942	10,862	2,731	13,593

令和4年度利用状況 UTILIZATION

区分 Division	人数 Persons		冊数 Volumes	
	年間 per year	一日平均 per day	年間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan	12,432	40.2	26,689	86.4
学類学生 Undergraduates	9,769	31.6	19,115	61.9
大学院学生 Graduate Students	1,074	3.5	2,765	8.9
教職員 Faculty and Staff	1,484	4.8	4,428	14.3
学外者 External Users	105	0.3	381	1.2
入館者数 Number of Visitors	186,853	604.7		

開館日数 309日 Open 309 days
(内土曜日43日) Saturday 43 days
(内日曜日35日) Sunday and holiday 35 days

※ 2020(令和2)年度以降、新型コロナウイルス感染症対策として利用制限等を行った影響により、例年より利用が減少している



フクニチャージ図書館(附属図書館)
FUKUNICharge Library (University Library)

☆福島大学は、福島白産自動車株式会社とネーミング・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としている。



閲覧室
Reading Room



ラーニングcommons
Learning Commons

文庫

Book collections

●大塚久雄文庫

The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、和洋合わせて図書6,058冊、雑誌約212タイトル、抜刷約1,682点、その他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、写真、住所録等個人資料一山。

●今野源八郎旧蔵書

The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、和洋合わせて図書4,455冊、雑誌294タイトル、資料13,553点、その他、パンフレット、リーフレット、地図、抜刷、コピーなど一山。

●その他

藤本文庫、藤田文庫、栗原文庫、二宮文庫、大森文庫、川村重和教授旧蔵書、松井秀親教授旧蔵書、三宅皓士教授旧蔵書、岡本友孝教授旧蔵書、佐藤恒久教授旧蔵書、珠玖拓治教授旧蔵書、下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション

Large collection

●19~20世紀ロシア・ソビエト研究稀覯資料集
19th-20th century Russian and Soviet rare materials collection

●ロシア帝国・ソビエト連邦法令集

Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

●帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第1部、同第2部

Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

●体育教育の歴史

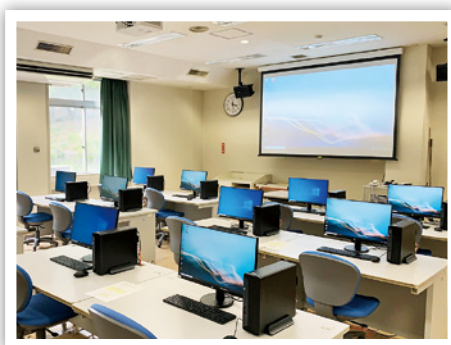
A collection of rare books in the history of physical education. EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE: from the 'survival of the fittest' to 'fitting the many to survive'

震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。図書・雑誌・視聴覚資料など2023(令和5)年5月現在約9,000点。

情報基盤センター Information Technology Center



情報基盤センターは、1969(昭和44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、1987(昭和62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化、社会における一層の情報化進展に対応するために、「情報処理センター」に改組、さらに2003(平成15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」となった。2022(令和4)年には、遠隔授業実施やBYOD導入等、ICT環境の大幅な変化に伴い、センターに求められる役割、業務が大きく変革し、従来に増して学内の情報基盤や情報セキュリティ対策の整備環境を行うことから、「情報基盤センター」に名称を変更し、さらなる機能強化を行った。

本センターは、「キャンパスネットワーク(FAINS:フェインズ)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」の他、全学的な情報セキュリティに関する業務を行っている。

環境放射能研究所 (IER) Institute of Environmental Radioactivity



環境放射能研究所は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性核種の環境中の挙動を長期間にわたって調査・解析し、解明することを目的として2013(平成25)年7月に設置された。国内の大学・研究機関、さらには実績ある海外の研究者・大学・研究機関と連携して研究活動を行っている。外国人研究者も多数在籍し、世界に開かれた環境放射能研究の先端研究拠点としての役割を担っている。

研究分野は大気、森林、河川湖沼、海洋と広範囲にわたる。事故から現在までの環境中の放射性物質の挙動の解明に加え、将来の挙動を予測することも重要である。これらの研究成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となる。

環境中の放射性物質の移行のうち主なものとして水の作用による侵食、運搬、堆積によるものがあるが、それ以外にも様々なものがある。ひとつは生物作用による移行、つまり生態系への影響である。この研究課題では、野生動物や魚類への放射性セシウムの移行状況調査とそのメカニズム研究をはじめ、住民の避難によって行動範囲を拡大した野生動物がもたらすさまざまな影響などのテーマにも取り組んでいる。また、農作物をはじめとする植物がどのようなメカニズムで放射能を取り込むのか、土壌粒子の構造や土壌中の化学成分などミクロまで踏み込み、植物生理との関連を解明することも重要なテーマである。これらは、農林水産業の復興に際して懸念される問題やその発生メカニズムを扱う研究であり、問題に対する対策策定や帰還の判断に資するものである。さらに測定機器の開発や、環境放射能のアーカイブセンターとしての機能も備える。

2019(令和元)年度からは共同利用・共同研究拠点「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」事業を開始し、毎年20件以上の共同研究を国内外の研究者とIER研究者が連携して行うと同時に、原発事故直後から系統的に採集された土壌アーカイブ試料の提供を開始し、環境放射能学研究試料へのアクセス拠点としての機能を一層強化した。また、2020(令和2)年度からは大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業「災害・被災者の医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業」に長崎大学の共同申請校として参画し、浜通り地域の復興に貢献する人材の育成を目的として現地にてセミナーを開催している。教育機能としては、2019(令和元)年度に共生システム理工学研究科環境放射能学専攻(修士課程)を、2021(令和3)年度に博士後期課程を開設した。

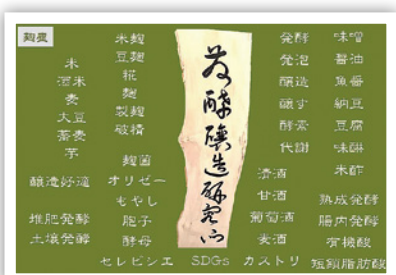
今後もこれまでの国際的な取り組みを背景に、国際社会への発信力の強化、次世代の環境放射能分野の課題を担う人材の育成を行っていく。

人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center



2023年度4月より学校連携部門が廃止され、教育相談部門と現職研修部門の2部門の人間発達文化学類附属センターとしてスタートした。

教育相談部門は、教育臨床研修講座などを中心に、心理職・教員等の支援技術向上を支援するとともに、臨床心理・教育相談室を併設して子ども・大人の心の悩みについての相談を有料で行っている。また大学院、地域デザイン科学研究科人間文化専攻人間発達心理コース臨床心理領域の大学院生の教育にも協力している。現職研修部門は年2~3回、もしくは通年で開催している教職員研修講座の実施を中心に、福島県教育庁、市町村教育委員会、各学校の研修支援、先生方の授業づくり支援等を行なっている。また、教職実践研究科の院生の教育にも携わっている。2部門ともに、附属学校園を含む学校の教育・研究支援を行っている。また、特別教室と授業分析室の施設があり、広く活用されている。



発酵醸造研究所は、2021(令和3)年4月に食農学類附属研究所として設置された。研究所にはフードチェーンに沿って「①素材生産・環境部門、②発酵醸造食品部門、③食健康・社会実装部門」、また部門横断的な位置付けで大容量の情報・データを扱う「④データ科学部門」が配置されている。発酵醸造の総合的・学際的な研究プロジェクトを推進するため、4研究部門を統括する「研究統括部門」を配置し、研究所の管理・運営を行っている。

発酵醸造素材作物の生産から発酵微生物、発酵醸造食品とその機能までを包含する総合的な基盤研究を展開している。

また、地域の農林水産業、食品関連産業に関連する課題解決型研究(ローカル)プロジェクトを産官学連携による橋渡し研究として推進する。さらにこれらの成果を国際的な課題、地球規模の課題の解決にも繋げる学際的先端(グローバル)研究として発展させることを目指している。

地域未来デザインセンター Community Future Design Center

福島大学では、「地域創造支援センター」と「うつくしまふくしま未来支援センター」を発展的に統合し、2022(令和4)年4月に新たに「地域未来デザインセンター(以下デザインセンター)」を設置した。

「地域創造支援センター」では、企業・自治体・地域社会・市民と大学との協力や連携の窓口として、共同研究、受託研究、奨学寄附金受入、産学協同の研究会開催などの活動を行った。また、「うつくしまふくしま未来支援センター」では、東日本大震災以降、様々な震災復興支援活動に取り組んだ。

新しく設置された地域未来デザインセンターは、それらのセンター事業を継承するとともに、地域課題解決に向けた研究及び社会貢献を一層進めるために、地域・企業・自治体などと連携し様々なプロジェクトを起こしながらそれらを社会に提案し、今まで以上に地域創生に寄与することを目的としている。さらに、学生含め学内外の人々が語り合い・アイデアを出し合う場と機会を創出するイノベーションコモンズを整えながら、福島の未来をつくるイノベーション人材を育てることも目的としている。

デザインセンターでは、主に次のような業務を行う。

- ・地域デザインの研究、提言及び社会実装に関すること。
- ・地方自治体、企業、各種団体等との連携協力に関すること。
- ・地域の課題解決に資するプロジェクトの実施に関すること。
- ・学類及び大学院の教育プログラムの実施の支援に関すること。
- ・地域の課題解決への貢献に関すること。



教育推進機構 Organization for the Promotion of Education

教育推進機構は、福島大学の教育理念と目標に基づき、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の改善・充実を図るとともに学生の確保、国際交流、学生支援及び就職支援に関する調査・研究、企画立案及び実施を全学的に行うことを目的として、2019(平成31)年4月に設置した。本機構には、保健管理センター、国際交流センター、アドミッションセンター、教職課程センター、キャリアセンターを置いている。

保健管理センター Healthcare Center



1981(昭和56)年4月に設置され、1982(昭和57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始された。本センターには、医師・保健師・看護師が配置されており、学生および教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には、保健管理計画に企画及び立案、定期及び臨時の健康診断の実施と事後対応、精神的及び身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

また、月に一度、外部より、婦人科(女性医師)の医師が来所し、それぞれが専門の相談に応じている。

国際交流センター International Center



国際交流センターは、①海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、②留学生教育の企画・立案、③教育研究面での国際交流を図ることを目的として、2012年(平成24年)4月に設立された。

本センターでは、学生の派遣及び受入、短期留学プログラムの企画・立案及び留学生の修学上・生活上のサポートを行っている。留学生用宿舎である国際交流会館の管理運営も担当している。

センター内では、本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学の報告書なども閲覧することができる。

さらに、留学や語学学習に関する図書の貸出や、希望者には語学試験対策学習指導も提供している。留学に関わる生活や学習の相談、在留資格、地域のイベント案内、手続きなどもここで確認することができる。

アドミッションセンター Admission Center



アドミッションセンターは、アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現するための具体的方策を企画・立案し、円滑な入学者選抜の実施を図ることを目的に、2016(平成28年)4月に設置された。

本センターは、高大接続改革の環境変化の下、本学が実施すべき選抜制度の実現に向けて、入学者選抜に係る調査研究、入学者選抜結果の分析及びその評価を行うとともに、入学者の学業成績等の追跡調査を行い、全学で連携協力して入学者選抜に係る企画・立案するほか、入学希望者及びその関係者を対象とした入試広報を行うことにより、継続的に優秀な学生を確保するための活動をしている。

教職課程センター Center for Curriculum of Teacher Education

全学的観点から教職課程の運営および連絡調整にあたる組織として2022(令和4)年4月に教職課程センターが設置され、教職課程を有する5つの学類の連携や各種調整業務を行っている。

センターの主たる業務は①本学の教職課程の各段階において到達すべき基準「福島大学教職スタンダード」に基づく教職課程のカリキュラム・マップの策定、②教職履修学生の学習成果の記録と活用のための「教職履修カルテ」等のシステムの整備、③教職FD研修会の開催、④教職課程の自己点検・評価と結果公表などがある。

キャリアセンター Career Center

キャリアセンターは、大学における学生の多様なキャリア形成を図り、就職活動等を支援することを目的として、2022(令和4)年4月に設置された。キャリア教育部門、キャリア支援部門、渉外部門の3つの部門を設け、学類・大学院の教員と連携し、就職先等の開拓、情報共有を行い、学生が自らライフプランを考え、納得して進路決定ができるよう、学生の成長をサポートすることを目指している。学生向けには、キャリア相談員による書類添削、模擬面接を含めた個別相談を行っており、その他にも、OB・OG紹介、就職に関する書籍の貸出、ガイダンス・セミナー・合同企業説明会を企画・実施している。

また、企業等からの求人・アルバイト受付の他、採用担当者との面談も行っており、採用担当者とともに本学学生を対象とした学内個別説明会を開催している。



研究推進機構 Organization for the Promotion of Research

研究推進機構は、福島大学における教員の個人的及び集団的研究活動並びに地域社会との円滑な連携協力活動を支援するとともに、本学の知的財産の保護、育成、管理及び活用を効率的に推進することにより、本学の研究活動の活性化並びに社会貢献を積極的に果たしていくことを目的として、2005(平成17)年5月に設置された。研究活動推進、地域連携及び知的財産に係る学内組織と相互に連携し、その総合調整を図る。



学生寮 Dormitories



2023.5.1

寮名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵寮 Aoi Dormitory
構造・面積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収容対象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室数 Bedrooms	200	150	150
収容可能人員 Capacity	200	150	150
現員 Present Occupancy	164	124	146

学生会館 University Hall



学生会館
University Refectory



大食堂 (Dining ReaF)
Large Cafeteria



大食堂 (Dining ReaF)
Large Cafeteria



Quick Lunchグリーン
Quick Lunch Green

2023.5.1

	施設名 Facilitie	面積 (m) Area	席・畳数 Capacity
1階 (1F)	大食堂 (Dining ReaF) Large Cafeteria	1,046	600席
	売店 Shop	294	
2階 (2F)	Quick Lunchグリーン Quick Lunch Green	200	125席
	ロビー Lobby	98	
	大集会室 Large Assembly Hall	270	250席
	小集会室 Small Assembly Hall	35	32席
	//	46	32席
	和室 Japanese Room	32	12畳
	学生総合相談室 Student Counseling Office	35	
	アクセシビリティ支援室 Accessibility support room	35	
	カウンセリングルーム Counseling room	18	
	//	18	
学生総合相談室分室 Student General Consultation Room Branch Office	22		
厨房・その他 Kitchen and Others	1,035		

サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA



街なかランチ舟場は、2009(平成21)年10月1日、福島市舟場町の職員会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され、以下の事業に使用されている。

- 地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援
 - 地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講
 - 地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応
- 産官学連携事業
 - 技術相談、共同研究、受託研究等
 - セミナー、会議の開催
- 本学教員の教育研究活動
 - 講演会、研究会の開催
 - ゼミ、フィールド調査時の拠点等



サテライト等

5

国際交流会館 International House

2023.5.1

名 Room	称	1室当り面積(m) Area	部屋数 Number of Rooms
単 Studio	身 室	12	38
夫 One-Bedroom	婦 室	35	5
家 Two-Bedroom	族 室	52	2
多 Multipurpose Hall	目 ル	112	1
和 Japanese Room	室	24	1
ラ Laundry Room	ン ド リ ー ・ ル ー ム	14	2
談 Lounge	話 室	14	2
事 Office	務 室	19	1

※ 単身室は主に留学生用、夫婦室・家族室は研究者用



国際交流会館
International House



多目的ホール
Multipurpose Hall

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に2006(平成18)年4月1日に開設。

地域未来デザインセンター相双地域支援サテライト

(富岡サテライト, 浪江サテライト)

Soso Area Support Satellite (Tomioka Satellite, Namie Satellite)

地域未来デザインセンターは、東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復旧・復興の支援に取り組んでおり、相双地域支援サテライトは、現地と大学を繋ぐ拠点として被災地域に密着した活動を行っている。



土地・建物面積

PROPERTIES

2023.5.1

部 局 等 Division	土地(m) Land	建物 (延m) Building	備 考 Location
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	94,921	金谷川 Kanayagawa
附 属 小 学 校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhamacho
附 属 中 学 校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamada-cho
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	12,031	4,307	八木田 Yagita
附 属 幼 稚 園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamada-cho
国 際 交 流 会 館 International House	5,439	1,412	舟場町 Funaba-cho
街 な か プ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA		402	
山 の 家 Mountain Lodge	5,843	419	高 湯 Takayu
如 春 荘 Joshunso	1,249	273	森 合 Moriai
艇 Boathouse	997	342	木 幡 Kohata
農 Farm	19,187	0	松川町 Matsukawa-machi
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho
野 田 住 宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho
そ の 他 Others	5,788	0	
計 Total	554,780	125,360	

金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名 称 Name	構 造 Structure	延面積(m) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science	SR7F	5,855
附属図書館 University Library	R3F・4F	10,638
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
情報基盤センター Information Technology Center	R3F	2,204
学校臨床支援センター/地域未来デザインセンター School Clinical Support Center/Community Future Design Center	R4F	1,995
食農学類管理棟 Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	2,530
食農学類研究棟 Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	4,388
農機具置場 Farm Machinery Center	S1F	198
環境放射能研究所本棟 Institute of Environmental Radioactivity (Main Building)	SR6F	3,994
環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility	S1F	583
環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory	S2F	1,360
事務局棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
S 講義棟 Lecture Halls-S	R4F	4,360
M 講義棟 Lecture Halls-M	R3F	2,755
L 講義棟 Lecture Halls-L	R1F	1,621
体育館 Gymnasium	RS1F・2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音楽棟 Music Bldg.	R3F	1,042
美術棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	6,857
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporters Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
プレハブユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
大学会館 University Refectory	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓道場(5人立) Archery Field	S1F	120
学生寮管理棟 Dormitory Administration Office	R1F	260
// 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
// 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
// 葵寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Office	R1F	34
西門警務員室 Security Office	R1F	10
車庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
その他 Others		635
計 Total		94,921

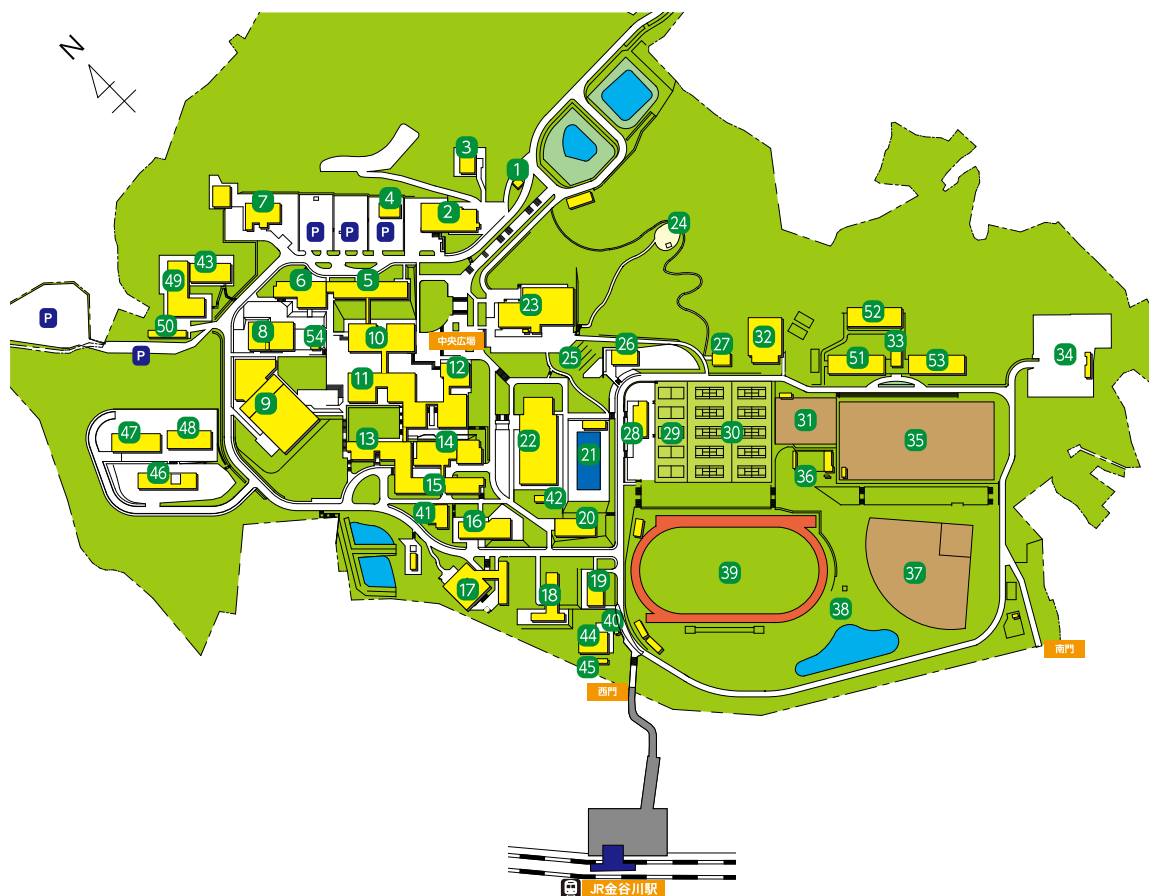
金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名 称 Name	内 容 Area	
陸上競技場 Athletic Field	400mトラック(第4種公認)全天候	1面
バレーボールコート Volleyball Courts	(夜間照明)	5面
テニスコート Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明)	10面
プー ル Swimming Pool	9コース 50m	1基
ハンドボールコート Handball Courts		1面
野 球 場 Baseball Field	両翼90m、中堅100m (夜間照明)	1面
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明)	1面
ゴルフ練習場 Golf Field	9打席	1面
馬 Riding Ground		1面

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地 KANAYAGAWA CAMPUS



- | | |
|--|--|
| ① 警務員室 Security Office | ③⑩ テニスコート Tennis Courts |
| ② 事務局棟 Headquarters | ③⑪ ハンドボールコート Handball Courts |
| ③ 保健管理センター Healthcare Center | ③⑫ 第2体育館 2nd Gymnasium |
| ④ 車庫 Garage | ③⑬ 学生寮管理棟 Dormitory Administration Office |
| ⑤ 経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration | ③⑭ 馬場 Riding Ground |
| ⑥ 行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences | ③⑮ サッカー・ラグビー場 Football Field |
| ⑦ 中央機械室・受水槽ポンプ室 Power Supply Center・Pump Room | ③⑯ 弓道場 Archery Field |
| ⑧ 情報基盤センター Information Technology Center | ③⑰ 野球場 Baseball Field |
| ⑨ 附属図書館 University Library | ③⑱ ゴルフ練習場 Golf Field |
| ⑩ S講義棟 Lecture Halls-S | ③⑲ 陸上競技場 Athletic Field |
| ⑪ M講義棟 Lecture Halls-M | ④① 西門警務員室 Security Office |
| ⑫ L講義棟 Lecture Halls-L | ④② 共生システム理工学類後援募金記念棟
Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science |
| ⑬ 人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture | ④③ プレハブユニット棟 Temporary Administration Building |
| ⑭ 共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory | ④④ 食農学類管理棟
Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences |
| ⑮ 共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science | ④⑤ 中水処理施設 Sewage Disposal Plant |
| ⑯ 学校臨床支援センター/地域未来デザインセンター
School Clinical Support Center/Community Future Design Center | ④⑥ 宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory |
| ⑰ 美術棟 Fine Arts Bldg. | ④⑦ 環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory |
| ⑱ 音楽棟 Music Bldg. | ④⑧ 環境放射能研究所本棟
Institute of Environmental Radioactivity (Main Building) |
| ⑲ 理工共通棟 SSS Technical Laboratory | ④⑨ 環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility |
| ⑳ 保健体育棟 Health and Physical Education Bldg. | ④⑩ 食農学類研究棟
Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences |
| ㉑ プール Swimming Pool | ⑤① 農機具置場 Farm Machinery Center |
| ㉒ 体育館 Gymnasium | ⑤② 如月寮 Kisaragi Dormitory |
| ㉓ 大学会館 University Refectory | ⑤③ 信夫寮 Shinobu Dormitory |
| ㉔ 信陵公園 Shinryu Park | ⑤④ 葵寮 Aoi Dormitory |
| ㉕ 野外ステージ Outdoor stage | ⑤⑤ 学生活動センター Building for Student Council |
| ㉖ 文化系サークル棟 Building for Student Societies | |
| ㉗ 合宿研修施設 Training House | |
| ㉘ 体育系サークル棟 Varsity Building | |
| ㉙ バレーボールコート Volleyball Courts | |

建物配置図





附属学校園 Off-Campus K-12 Schools

■附属小学校 Elementary School



- ① 小学校校舎(南校舎)
School Building(south school building)
- ② // (北校舎)
(north school building)
- ③ 小学校体育館
Gymnasium

■附属中学校 Junior High School

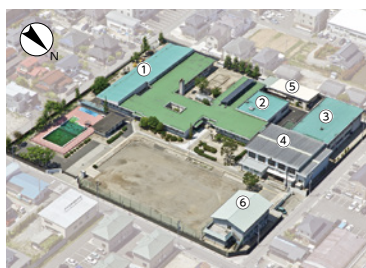


- ① 中学校校舎
Junior High School Building
- ② // 体育館
Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎
Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター
Early Childhood Education Center

■附属幼稚園 Kindergarten



■附属特別支援学校 Special Needs Education School



- ① 特別支援学校校舎(小学部)
School Building (1-6)
- ② // (中学部)
(7-9)
- ③ // (高等部)
(10-12)
- ④ // 体育館
Gymnasium
- ⑤ // 木工室
Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設
Training Facility

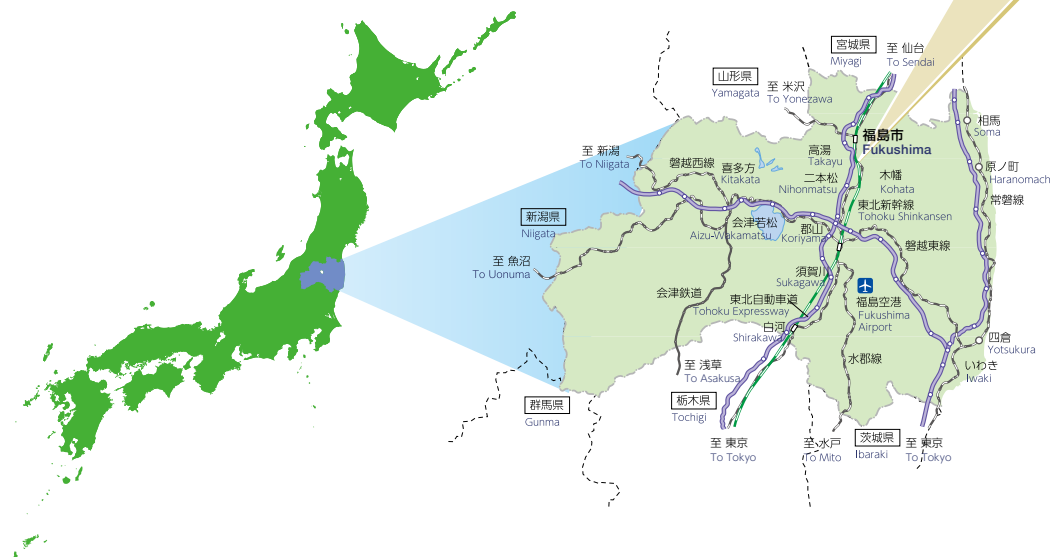
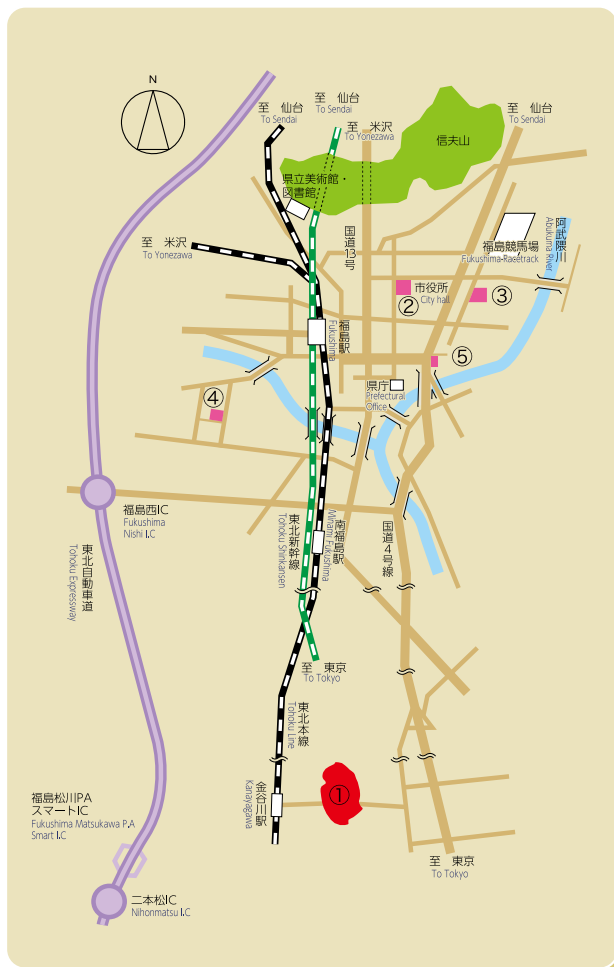


部局等の所在地案内図

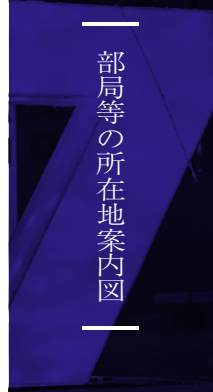
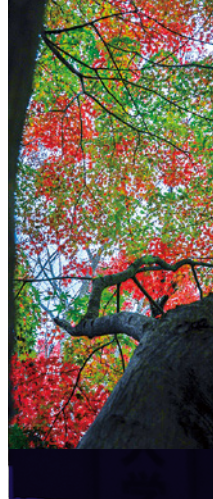
LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

- ① 福島大学 Fukushima University
JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分
Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.
- ② 附属小学校 Elementary School
福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環1コース約10分、「附属小前」下車
Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)
- ③ 附属中学校 Junior High School
附属幼稚園 Kindergarten
福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・保原方面行乗車、約8分、「東高校前」下車徒歩5分
Take the bus for "Date・Fujita・Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.
- ④ 附属特別支援学校
Special Needs Education School
福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯方面行乗車約15分、「福島ふそう前」下車徒歩5分
Take the bus for "Arai・Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso". It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.
- ⑤ 国際交流会館
International House
福島大学サテライト「街なかランチ舟場」
Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]



部局等の所在地案内図



部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2023.5.1

部 局 等 Division		電 話 番 号 Telephone	所 在 地 Address
人文社会学群	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	024-548-8103	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	024-548-8253	
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	024-548-8353	
理工学群	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	024-548-5213	〒960-1296 福島市金谷川1番地
食農群	食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	024-548-8212	
附 属 図 書 館 University Library		024-548-8083	〒960-1293 福島市金谷川1番地
保健管理センター Healthcare Center		024-548-8068	〒960-1296 福島市金谷川1番地
国際交流センター International Center		024-503-3066	
アドミッションセンター Admission Center		024-548-8052	
人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center		024-548-8110	
情報基盤センター Information Technology Center		024-548-8018	
地域未来デザインセンター Community Future Design Center		024-548-8012	
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity		024-504-2114	
事務局 Administration Bureau		学長室 024-548-5224 監査室 024-548-5193 総務課 024-548-8006 校友会・基金支援室 024-503-4991 人事課 024-548-8007 財務課 024-548-8016 施設課 024-548-8021 教務課 024-548-8053 学生・留学生課 024-548-8061 キャリア支援課 024-548-8108 入試課 024-548-8064 研究・地域連携課(研究・産学連携に関すること) 024-548-8009 (地域連携に関すること) 024-548-8012 学術情報課 024-548-8083	
如 Kisaragi Dormitory	月 寮		
信 Shinobu Dormitory	夫 寮		
葵 Aoi Dormitory	寮		
※平成12年地名変更 金谷川←松川町浅川字直道			
附 属 幼 稚 園 Kindergarten		024-534-7962	〒960-8107 福島市浜田町12番39号
附 属 小 学 校 Elementary School		024-534-6441	〒960-8022 福島市新浜町4番6号
附 属 中 学 校 Junior High School		024-534-6442	〒960-8107 福島市浜田町12番26号
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School		024-546-0535	〒960-8164 福島市八木田字並柳71番地
国 際 交 流 会 館 International House		024-521-2428	〒960-8103 福島市舟場町4番30号
街 な か プ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA			
如 Joshunso	春 荘		〒960-8003 福島市森合字台13番地9号
艇 Boathouse	庫		〒964-0203 二本松市木幡字西和代191番地9号
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation			〒960-8133 福島市桜木町8番1号
野 田 住 宅 Noda Accommodation			〒960-8055 福島市野田町五丁目7番
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation			〒960-8114 福島市松浪町1番29号

基金の概要

福島大学基金は、大学の全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途をあらかじめ特定した上でご寄附いただく「特定基金」で構成しております。寄附者の皆様のご期待やご意思に応えるべく有効に活用させていただきます。一定額以上のご寄附をいただける場合は、寄附者様のご意向をお聞きし、ご芳名を冠する「冠基金」とすることがありますので、冠基金をご希望される場合は、基金事務局（総務課校友会・基金支援室）までご連絡ください。

一般基金

大学全体の活動を広く支援する基金です。以下の支援事業に活用させていただきます。

- 教育・学生支援事業
- 研究推進事業
- 大学の発展・充実に資する事業

冠基金

(令和5年7月現在)

- ・本庄照子基金
- ・ネットワークシステムズ奨学金基金

特定基金

寄附者様に用途を特定いただき、その事業を支援する基金です。

- 福島大学しのぶ育英奨学金基金
- 福島大学農学支援基金

教育・学生支援事業

地域の再生復興を見据えながら、グローバル化が進展する社会で活躍できる「強い人材」の育成をめざし、学生が存分に勉学に励み、国際性を育み、社会的実践力を身に付けることができるような教育環境を整備することを目的とし、以下の事業を支援します。

- ① 学生支援事業
- ② 国際交流事業
- ③ 学生教育環境整備事業
- ④ その他事業（課外活動や就職活動への支援を実施）



令和5年3月に実施の「台湾短期研修」の様子（福島大学基金で支援）

研究推進事業

学術活動、地域交流活動及び学生を含めた国際交流活動などの学術振興の一層の進展を図るために、研究推進に関わる様々な事業へ助成を行っています。

大学の発展・充実に資する事業

本学の教育・研究・学生サービス等のより一層の充実に資する事を目的とし、社会貢献及び連携事業、学内環境（施設設備を含む）整備等に関する事業に活用いたします。



震災・復興展示コーナー「東日本大震災 福島大学の記憶」開設

新型コロナウイルス感染症対策助成事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学生への緊急支援として、経済的に困窮する学生へ1人あたり1万円の給付を909名に行いました。また、学生1人あたり5万円の貸与を行う「福島大学緊急学生支援奨学金」を設立し、12名の学生がこの制度を活用しました。令和3年度に学生1人あたり3千円の給付を1,111名に行い、令和4年度においても、同じく学生1人あたり3千円の給付を734名に行いました。

ご協力をお願いする金額

法人・団体様（一口 1万円）

個人様（一口 5千円）

ご寄附の方法

- 郵便振替
- 銀行振込
- クレジットカード決済
- コンビニ決済

振込

・福島大学基金パンフレット添付の「払込取扱票」により銀行の窓口でお振込みをお願いします。ご希望の方には、パンフレットをお送りいたしますので、下記お問い合わせ先までメールまたはお電話にてご連絡ください。

・福島大学基金ホームページ内からもお手続きが可能となっておりますので、以下 QR コードをご参照ください。

【お問い合わせ先】

福島大学 総務課 校友会・基金支援室 〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL:024-503-4991 /FAX:024-548-3180/E-mail:kikin@adb.fukushima-u.ac.jp





- 全体の形は、福島大学の頭文字「F」を表している。
- 縦長の長方形は、大地(地域)にしっかりと根を下ろしている様を、上の二枚の葉は、伝統に根ざし発展する「人文社会学群」と新たに創設された「理工学群」及び「農学群」を表している。
- 下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と調和を感じさせる「青のグラデーション」
- その躍動感あふれるフォルムには、軽やかで爽やかな風が吹き抜けるキャンパスで21世紀的課題に果敢に挑戦する人材を育成したいという願いが託されている。

【令和5年7月 発行】

福島大学総務課

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-5190

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>